

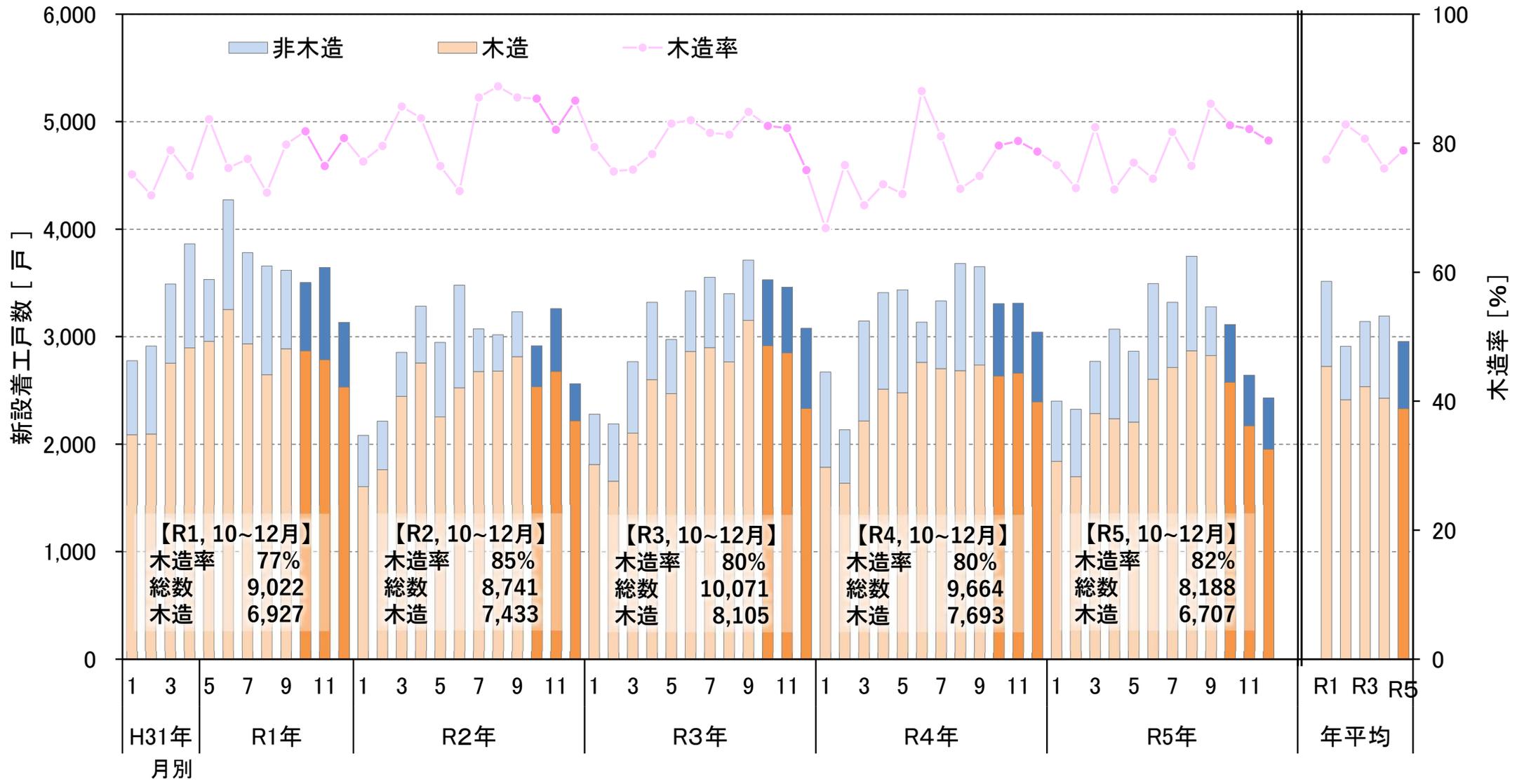
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和6年3月5日(火)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

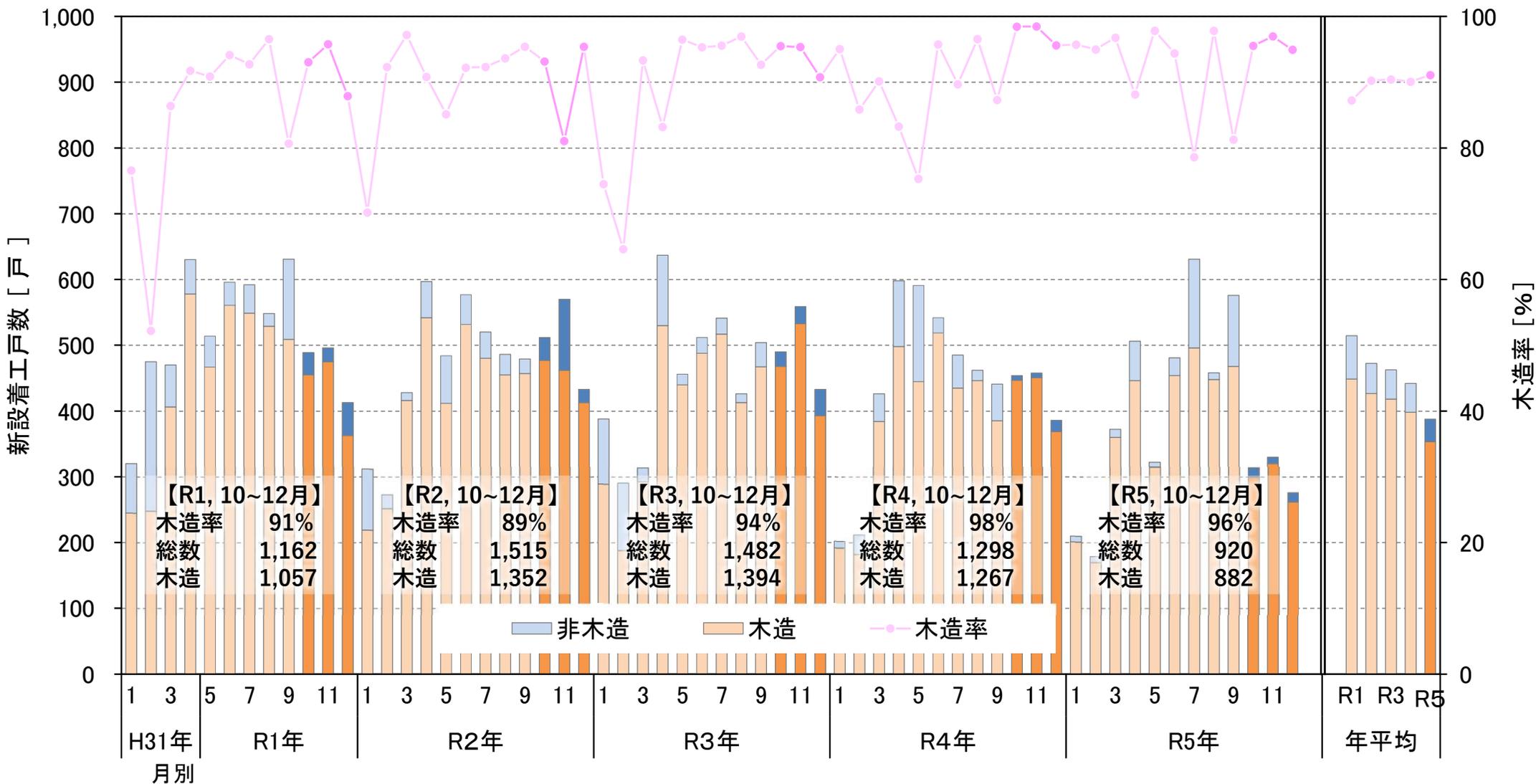
○ 東北5県の令和5年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より1,476戸(15.3%)減少した。この期間の木造は昨年同期より986戸減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

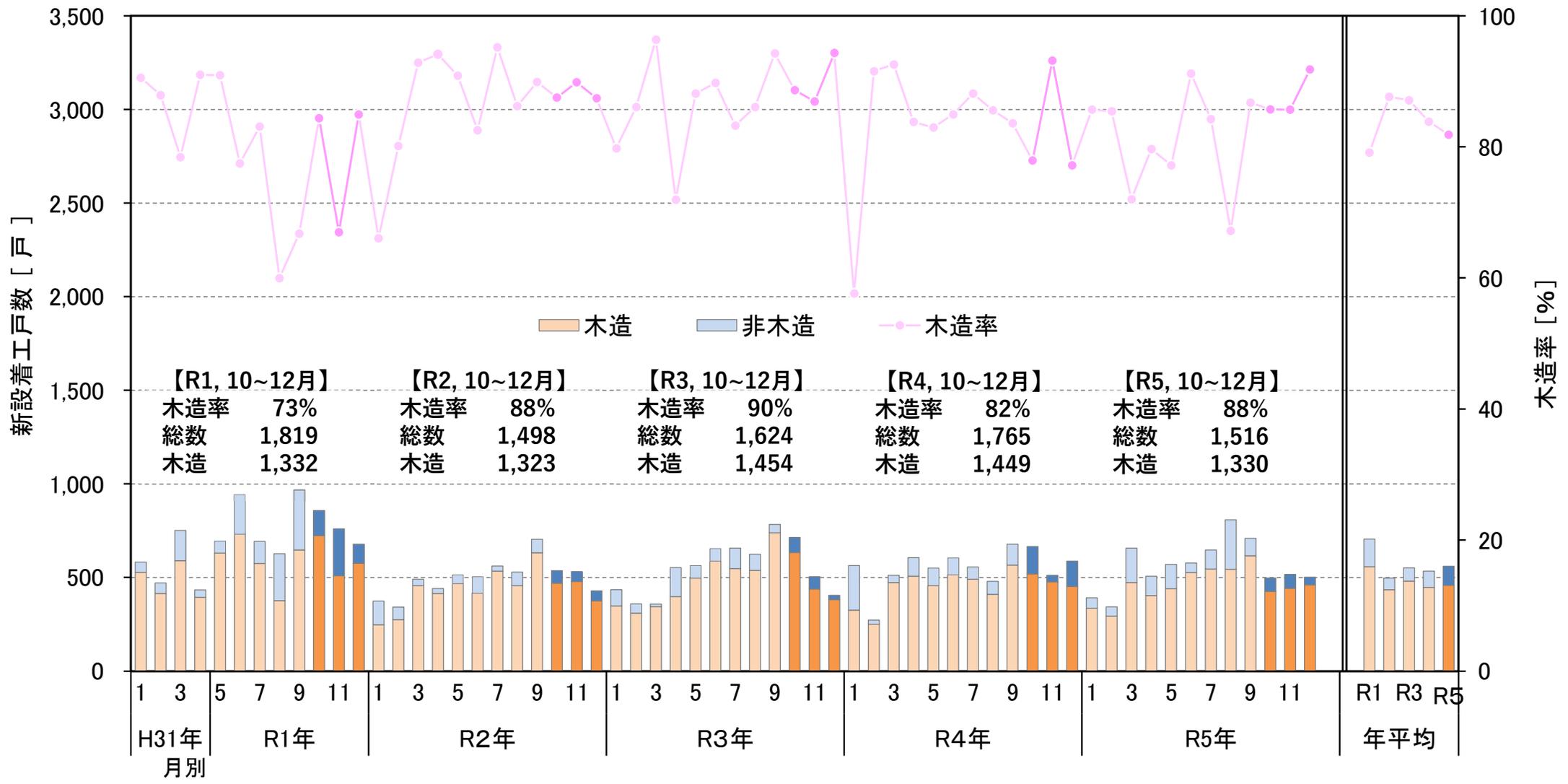
○ 青森県の令和5年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より378戸(29.1%)減少した。この期間の木造は385戸減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移 (平成30年1月～令和5年12月)

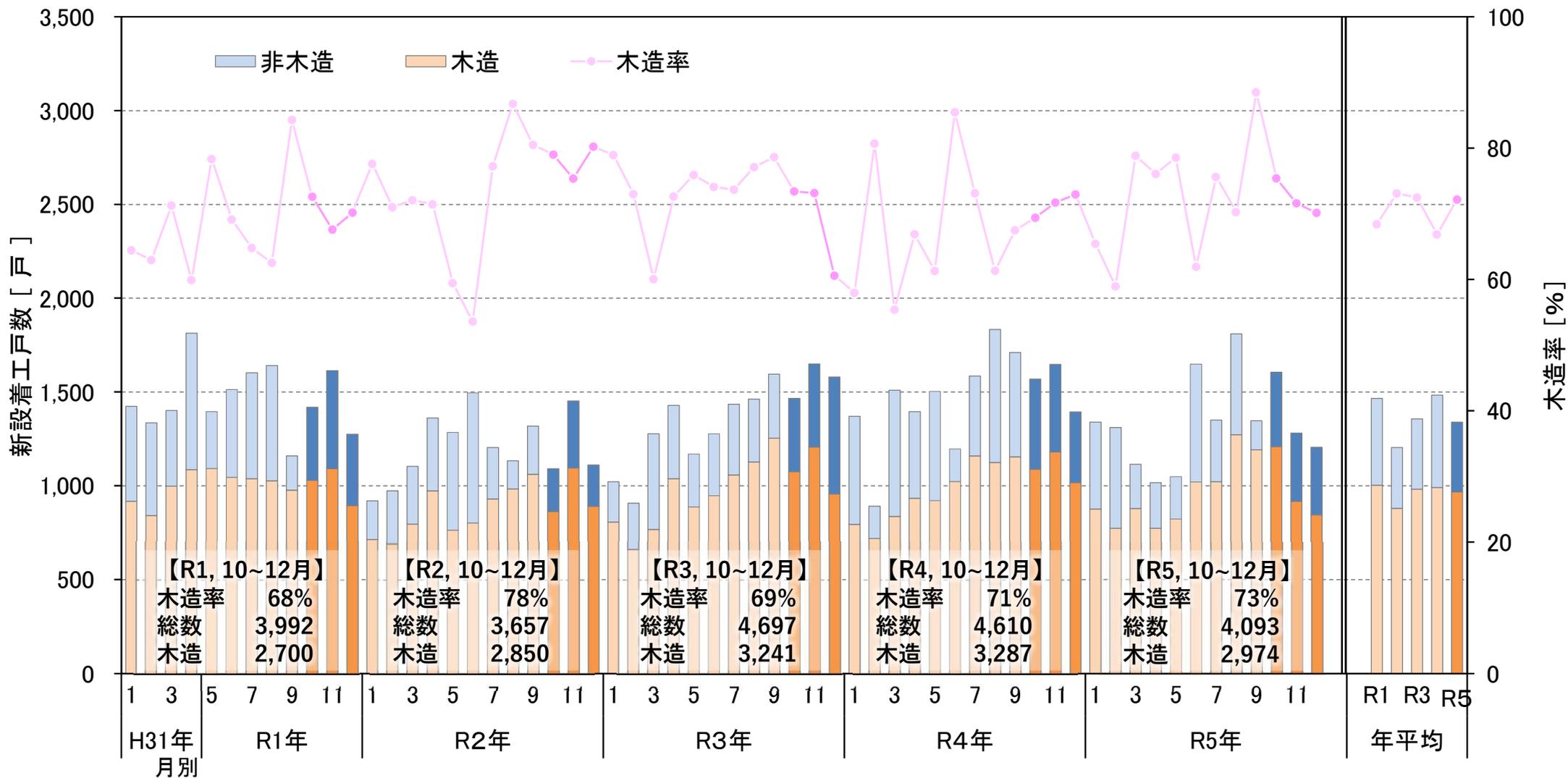
○ 岩手県の令和5年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より249戸(14.1%)減少した。この期間の木造は119戸減少し、木造率は6%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

宮城県の新設住宅着工戸数の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

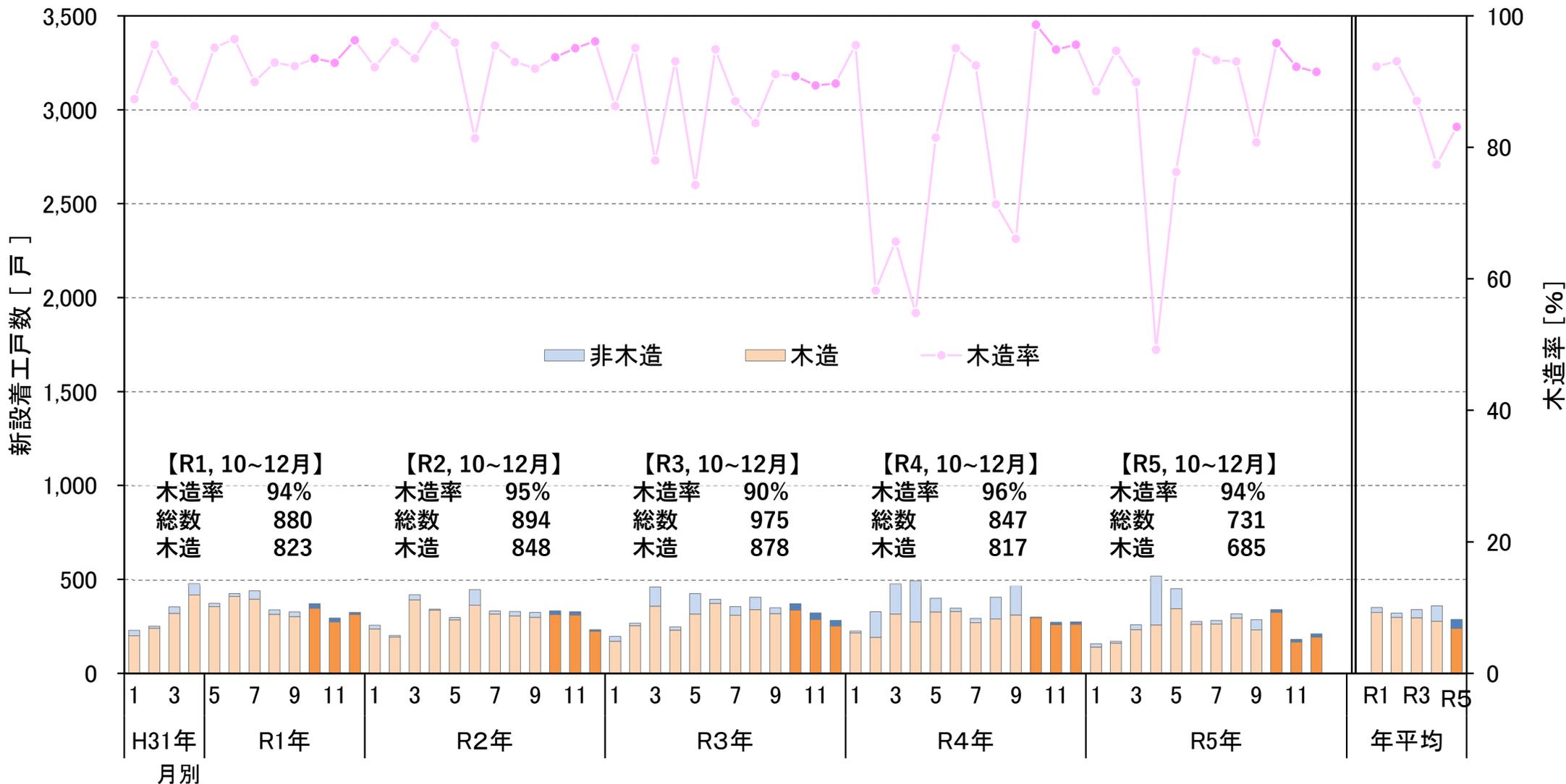
○ 宮城県の令和5年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より517戸(11.2%)減少した。
この期間の木造は313戸減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

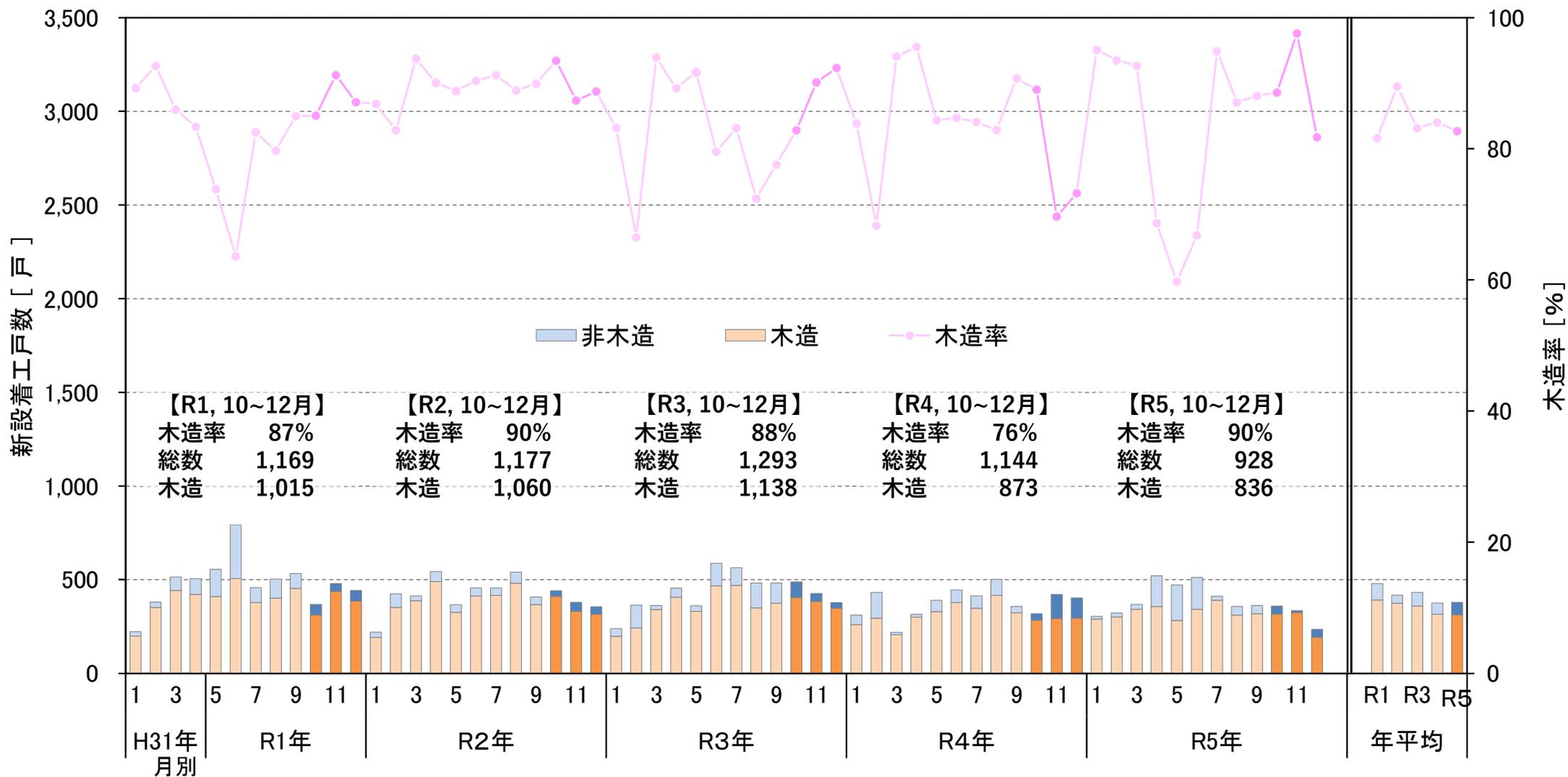
○ 秋田県の令和5年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より116戸(13.7%)減少した。
この期間の木造は132戸減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設住宅着工戸数の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

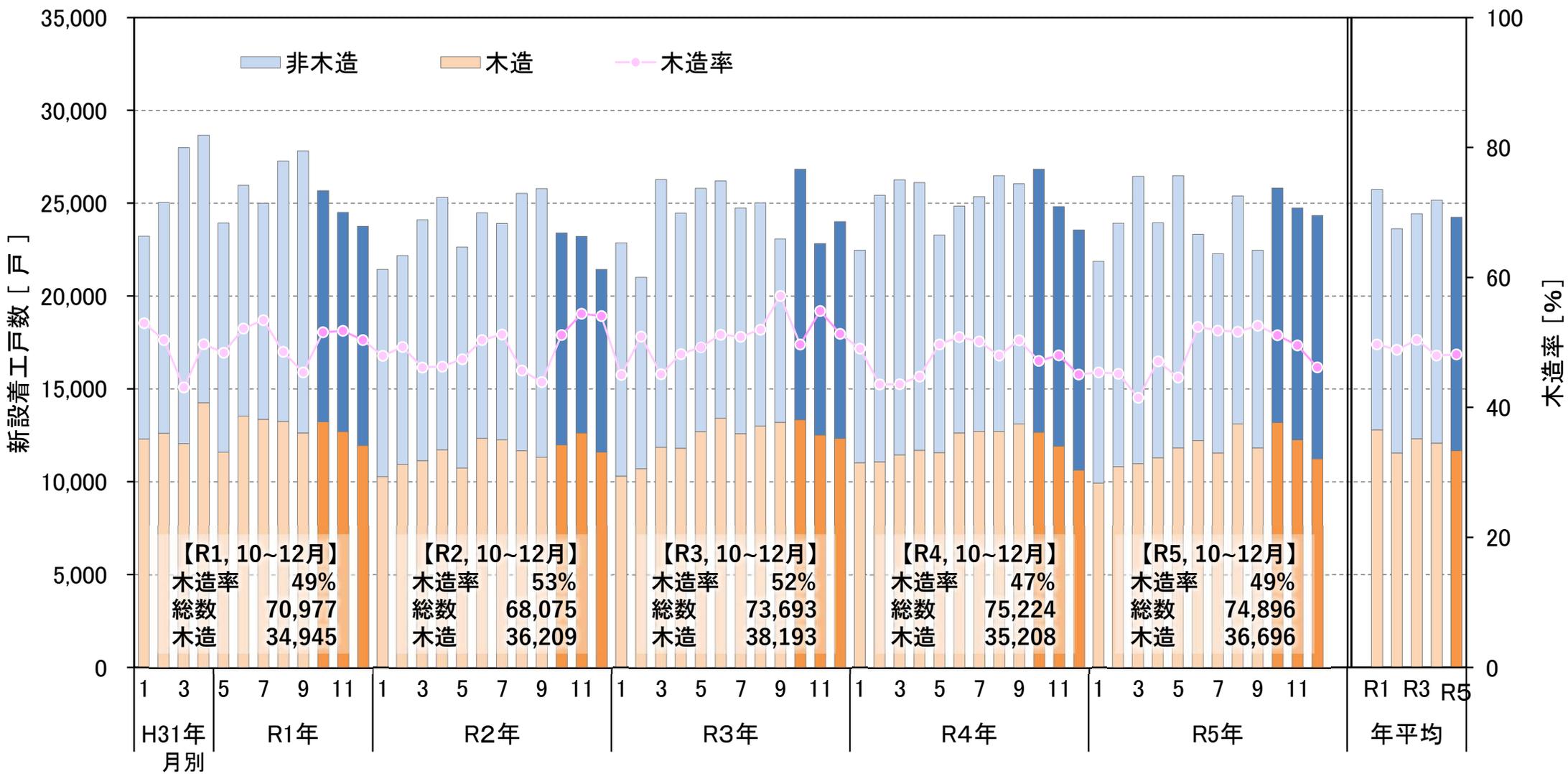
○ 山形県の令和5年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より216戸(18.9%)減少した。
この期間の木造は37戸減少し、木造率は14%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

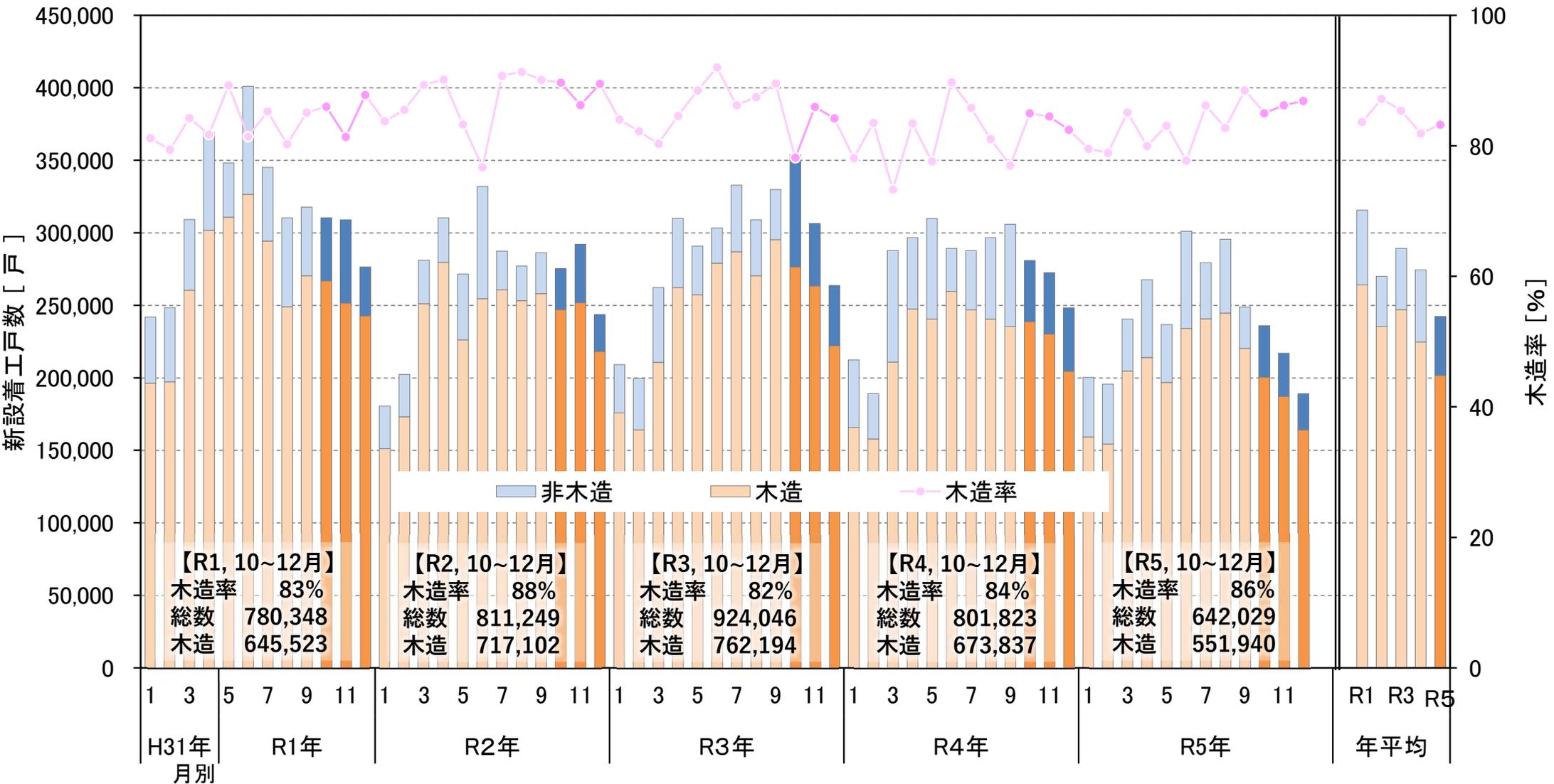
○ 関東主要都市の令和5年10～12月期の新設住宅着工戸数は、去年同期より328戸(0.4%)減少した。この期間の木造は1,488戸増加し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

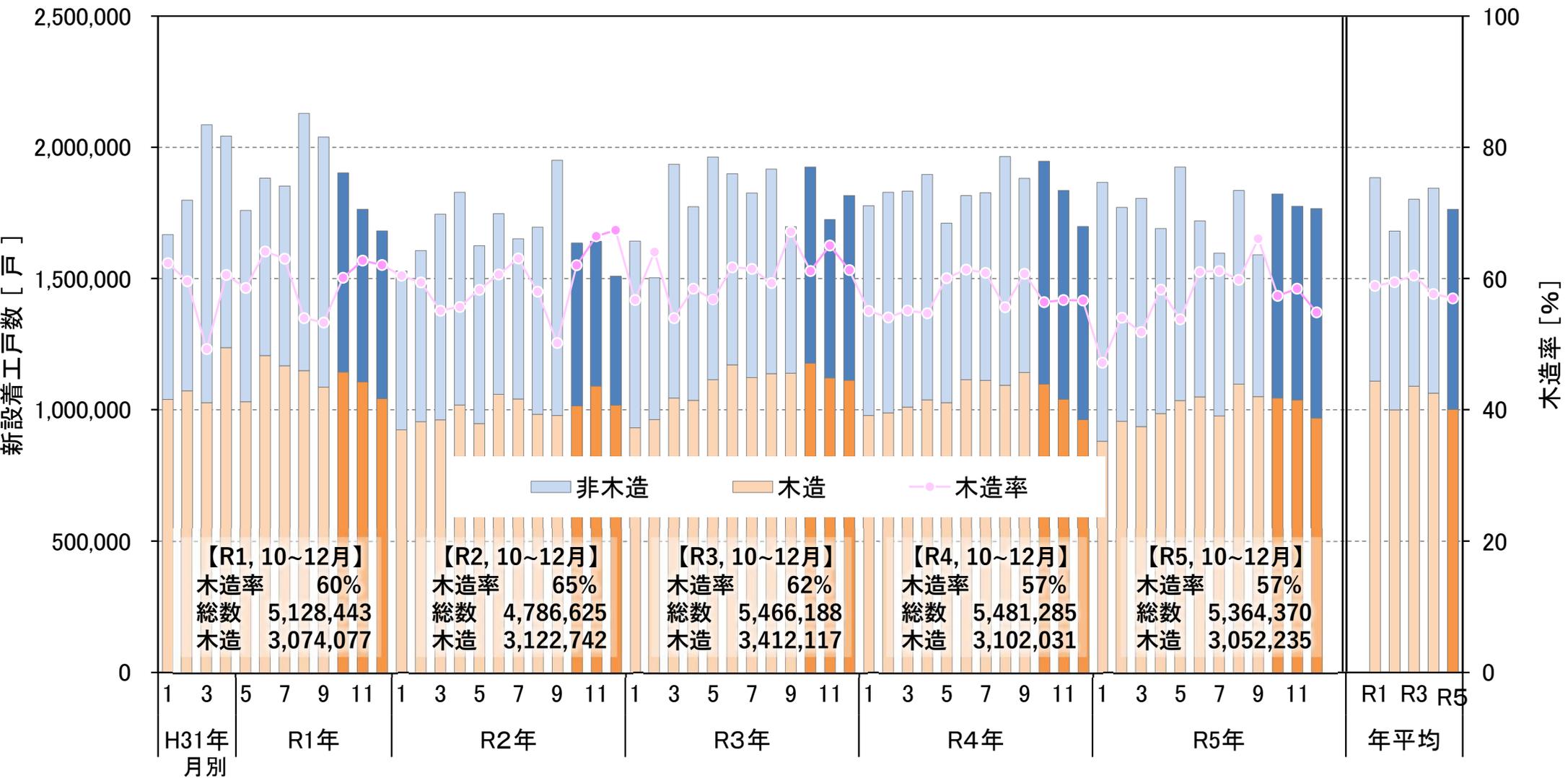
○ 東北5県の令和5年10～12月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より159,794m²(19.9%)減少した。この期間の木造は昨年同期より121,897m²減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

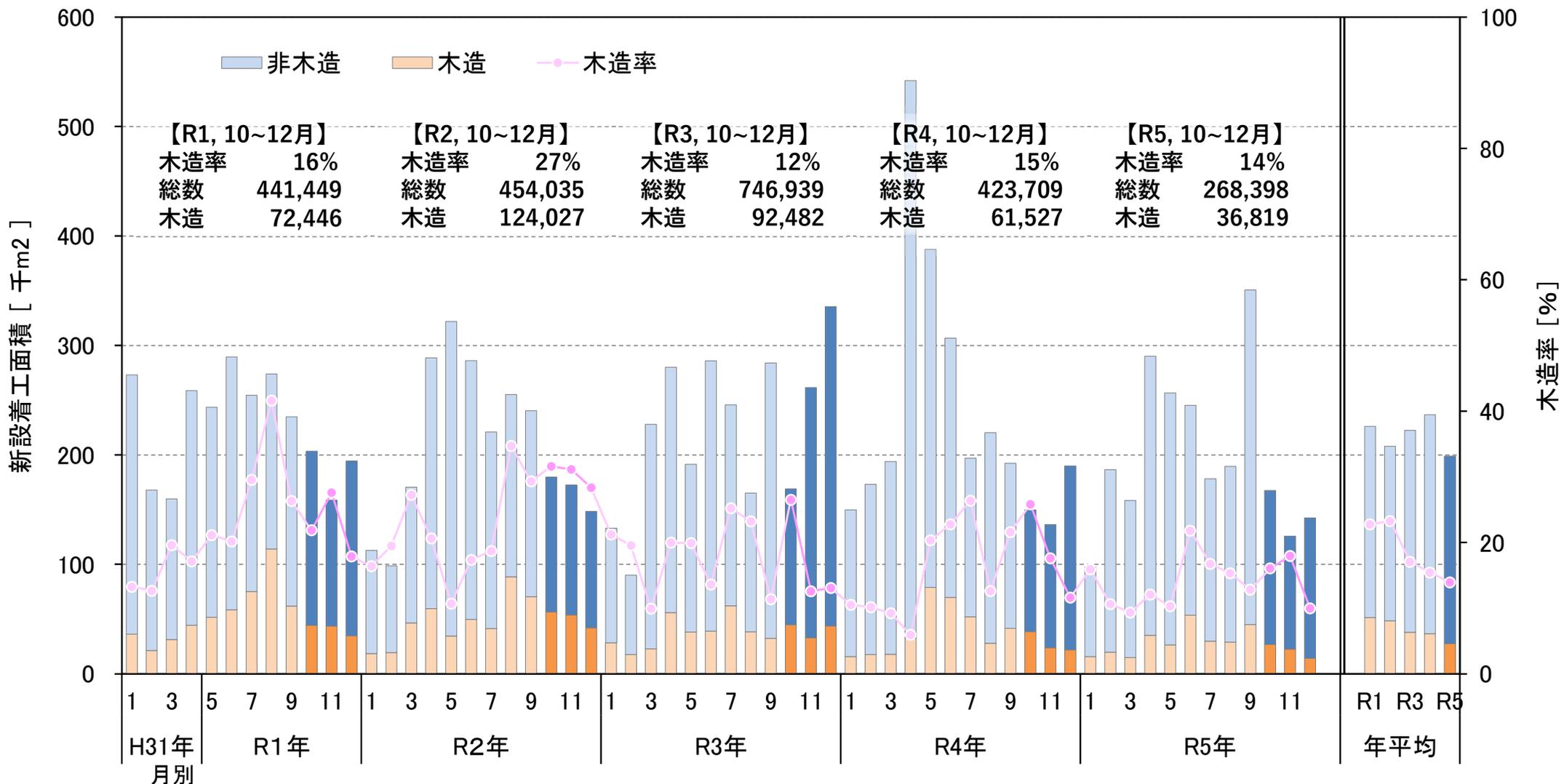
○ 関東主要都市の令和5年10～12月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より116,915m²(2.1%)減少した。この期間の木造は49,796m²減少し、木造率は±0%だった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

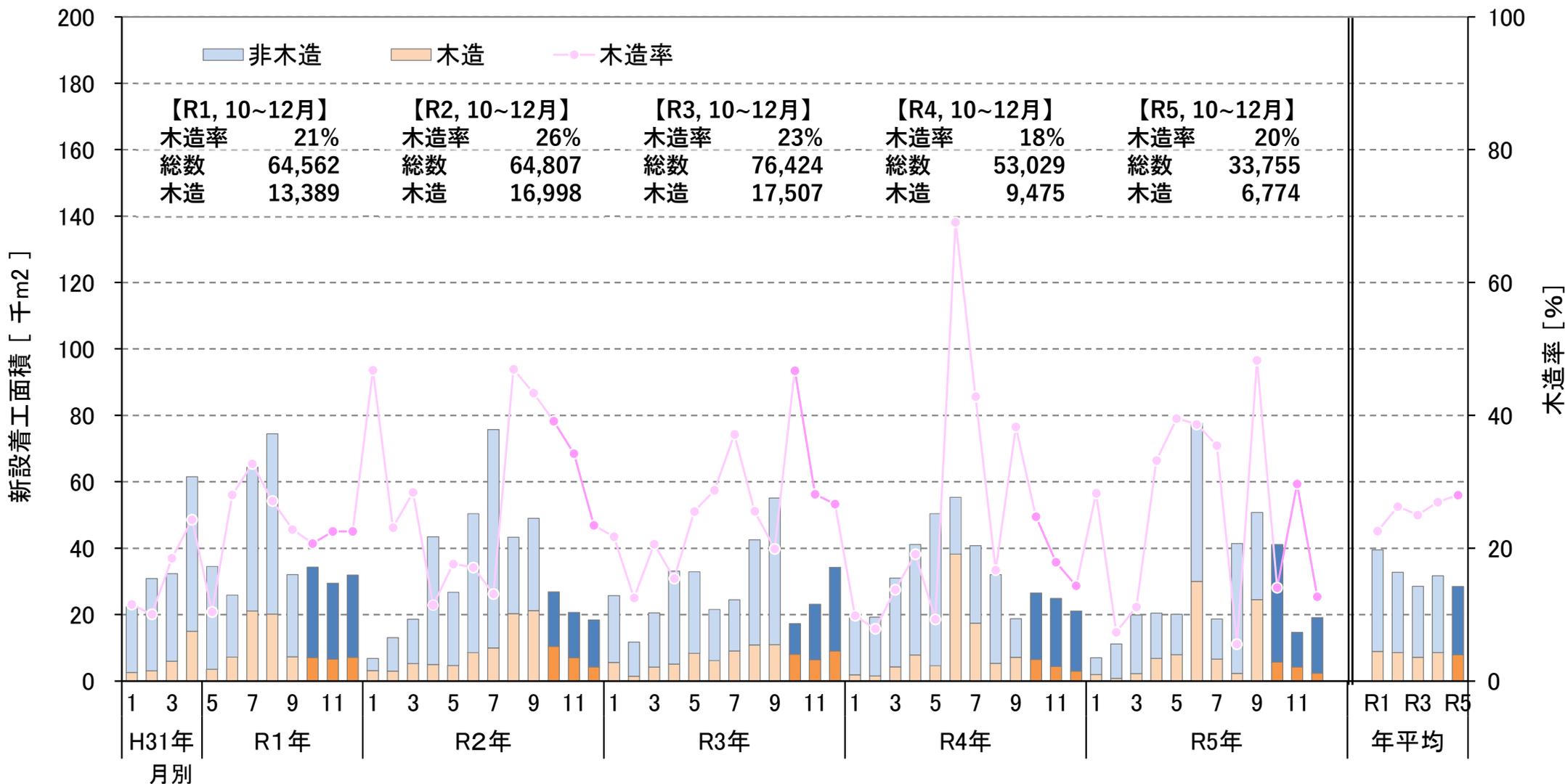
○ 東北5県の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より155,311㎡減少した。この期間の木造は昨年同期より24,708㎡減少し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

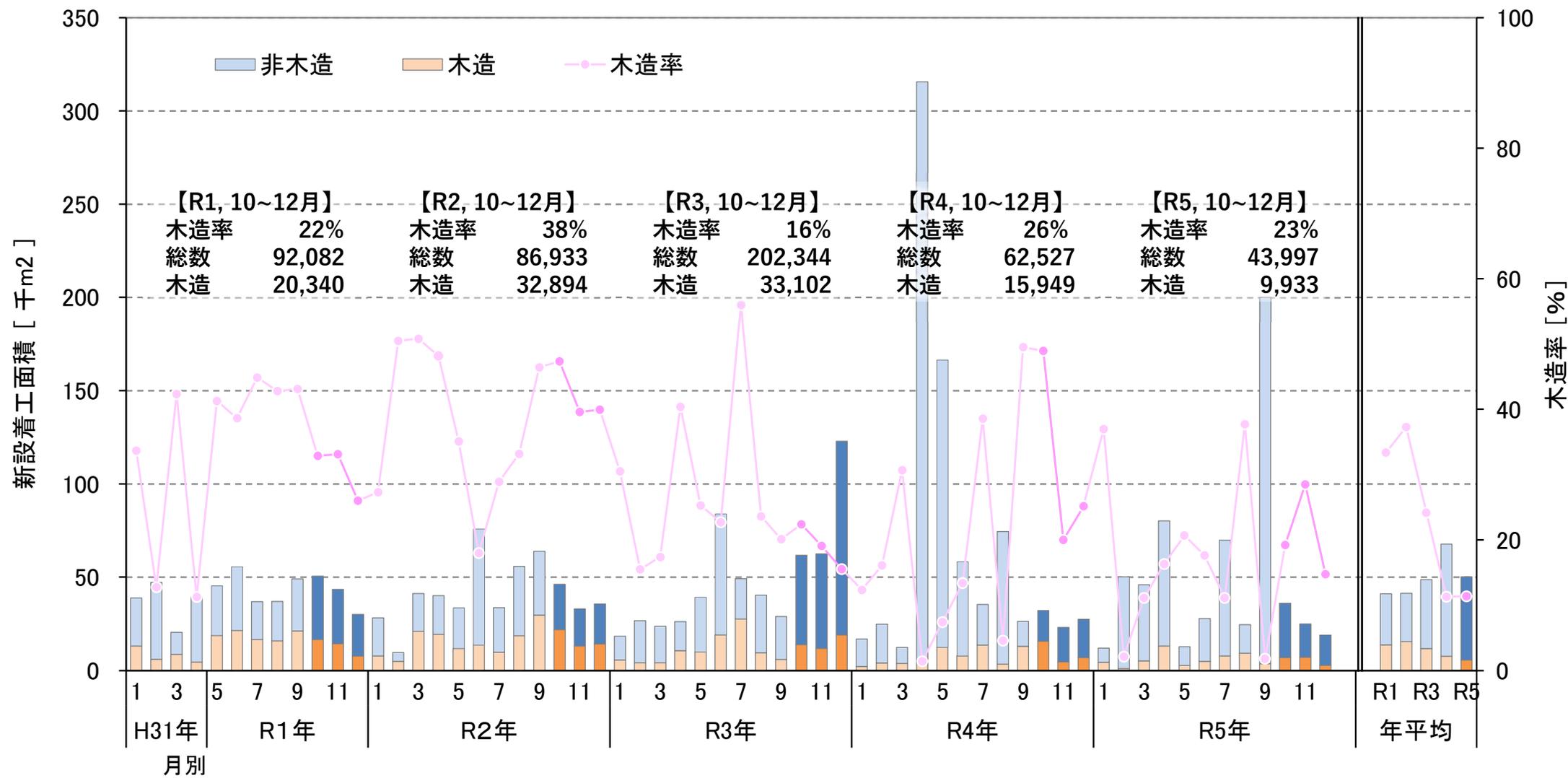
○ 青森県の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より19,274㎡減少した。この期間の木造は2,701㎡減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

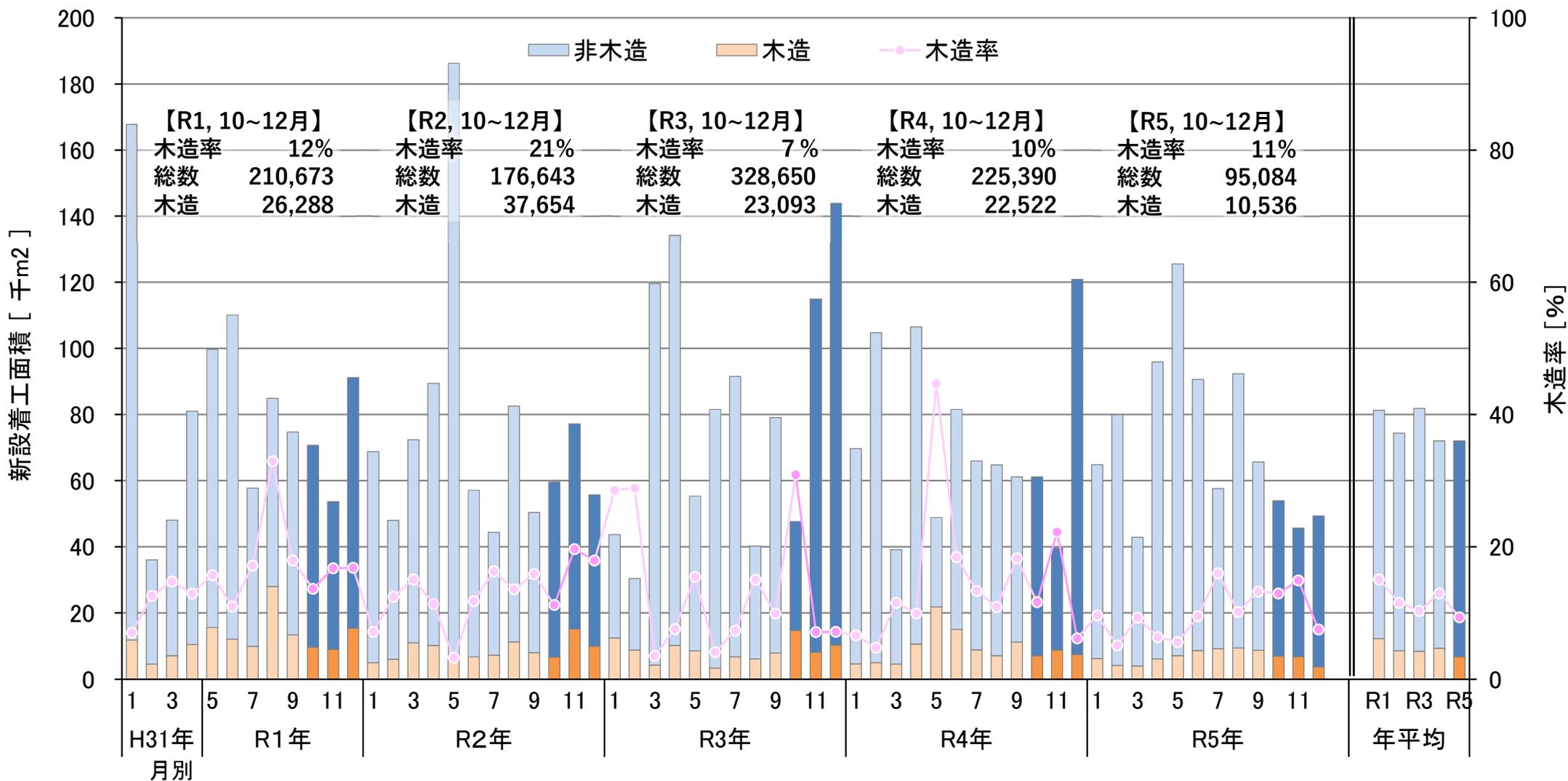
○ 岩手県の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より18,530㎡減少した。この期間の木造は6,016㎡減少し、木造率は3%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

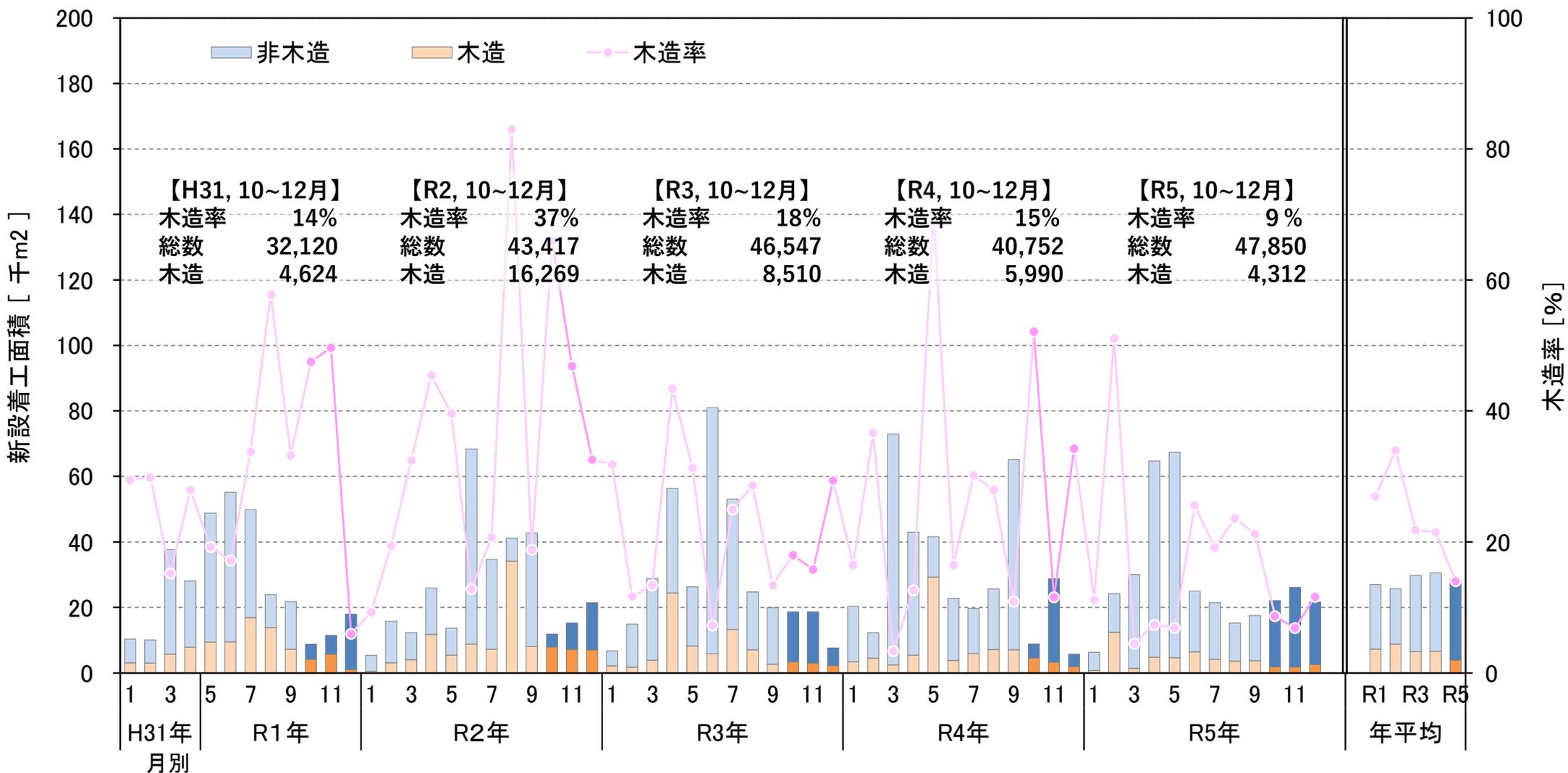
○ 宮城県の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より130,306㎡減少した。この期間の木造は11,986㎡減少し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

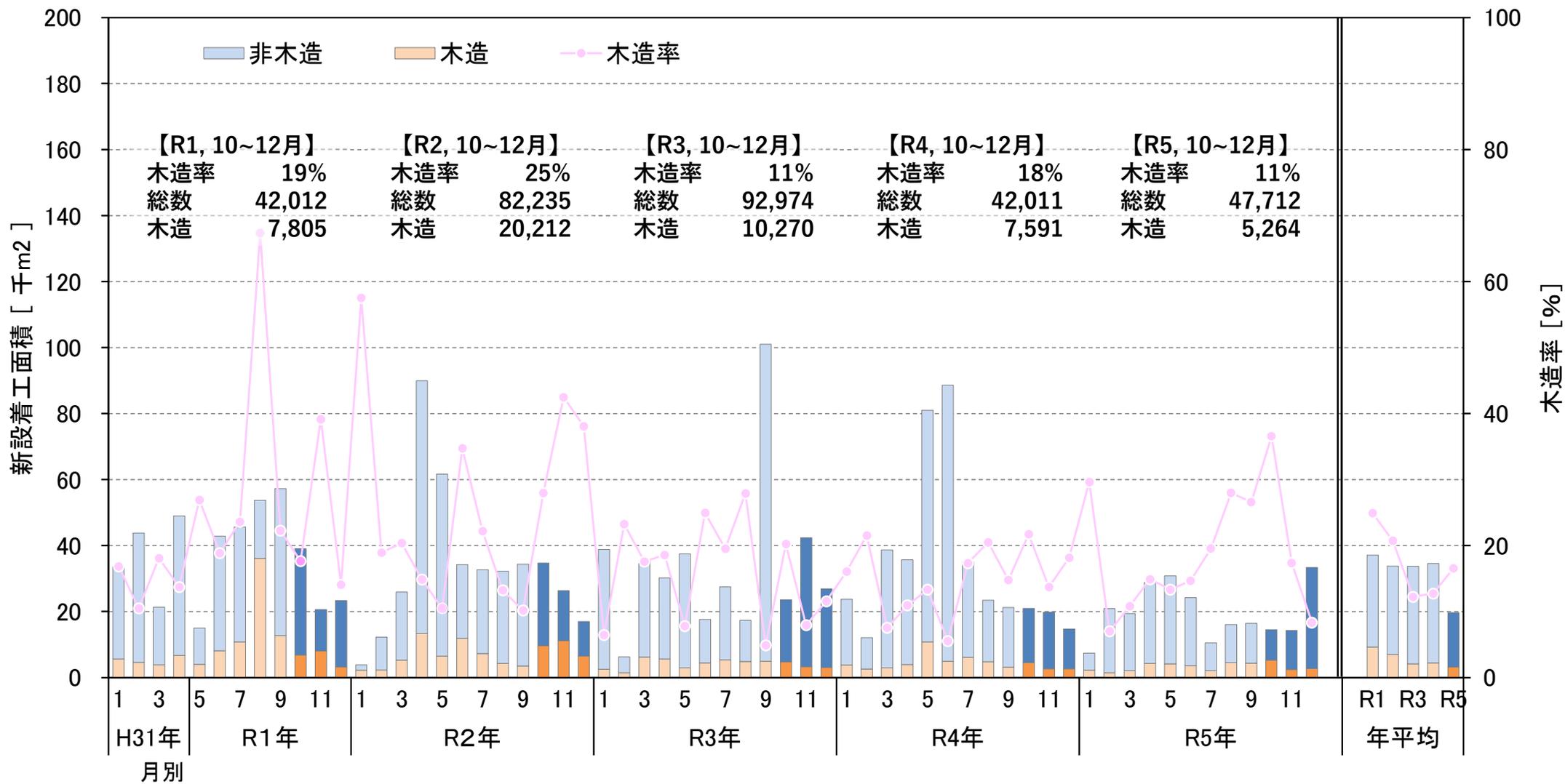
○ 秋田県の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より7,098㎡増加した。この期間の木造は1,678㎡減少し、木造率は6%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

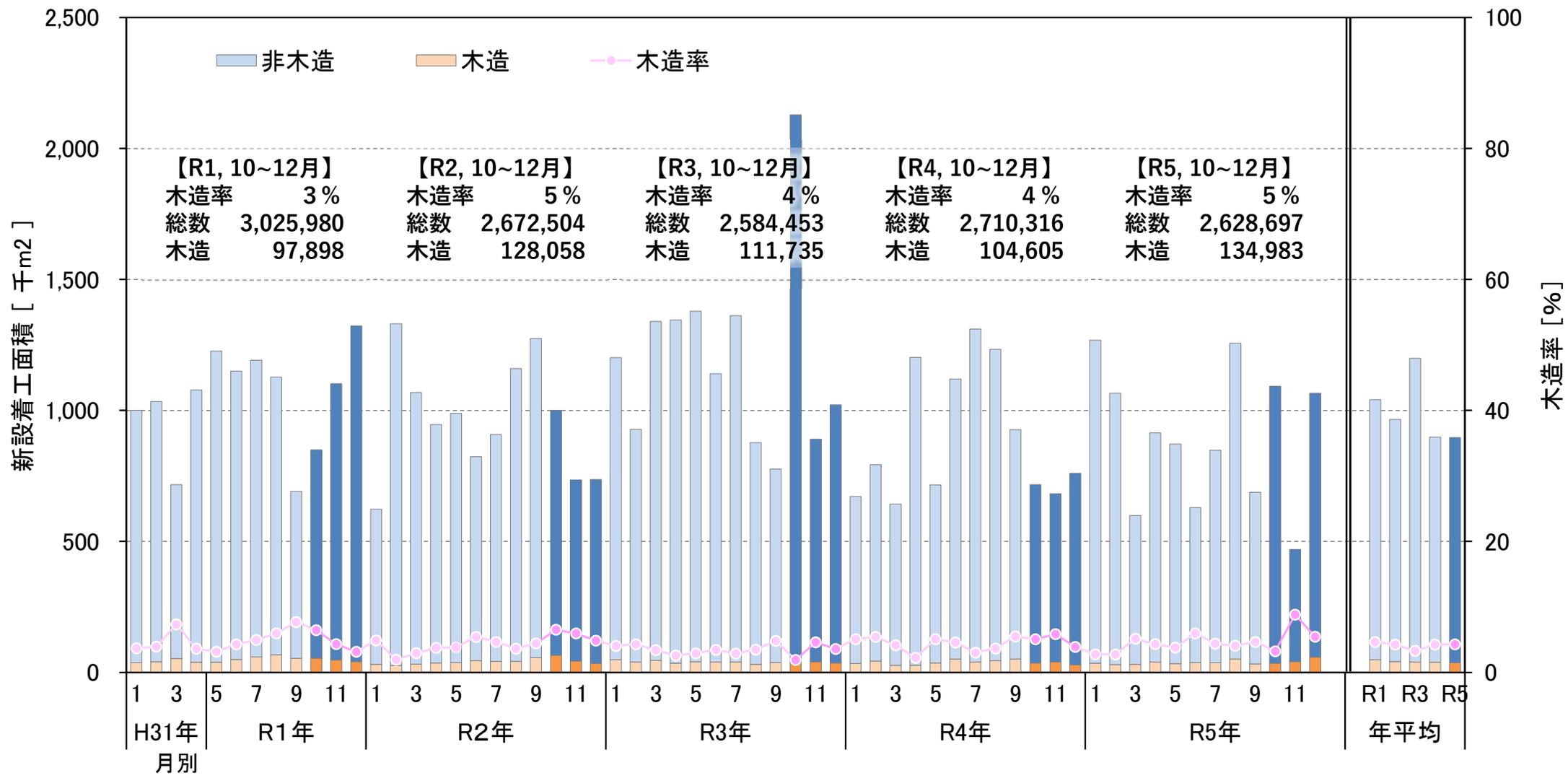
○ 山形県の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より5,701m³増加した。この期間の木造は2,327m²減少し、木造率は7%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

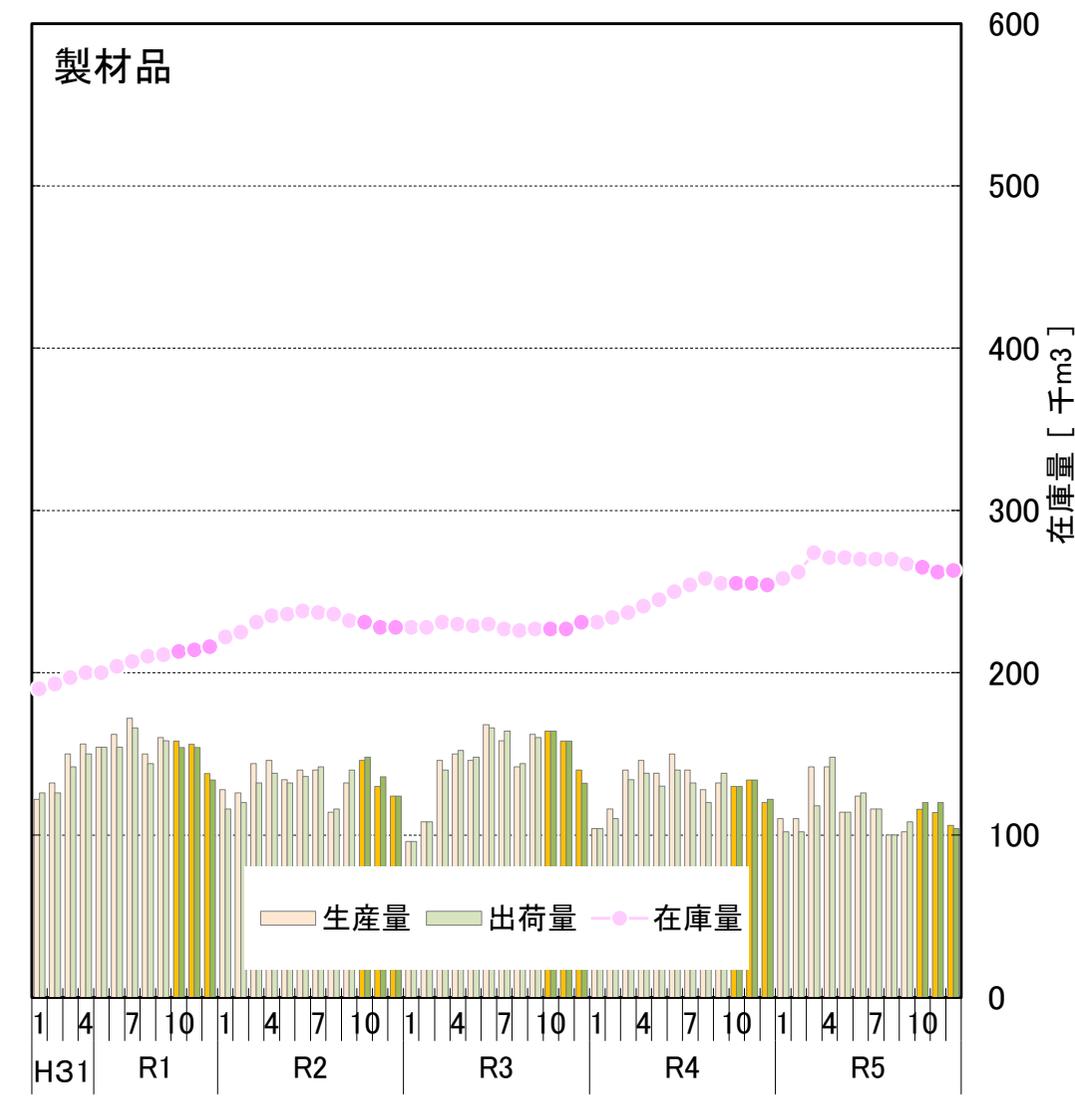
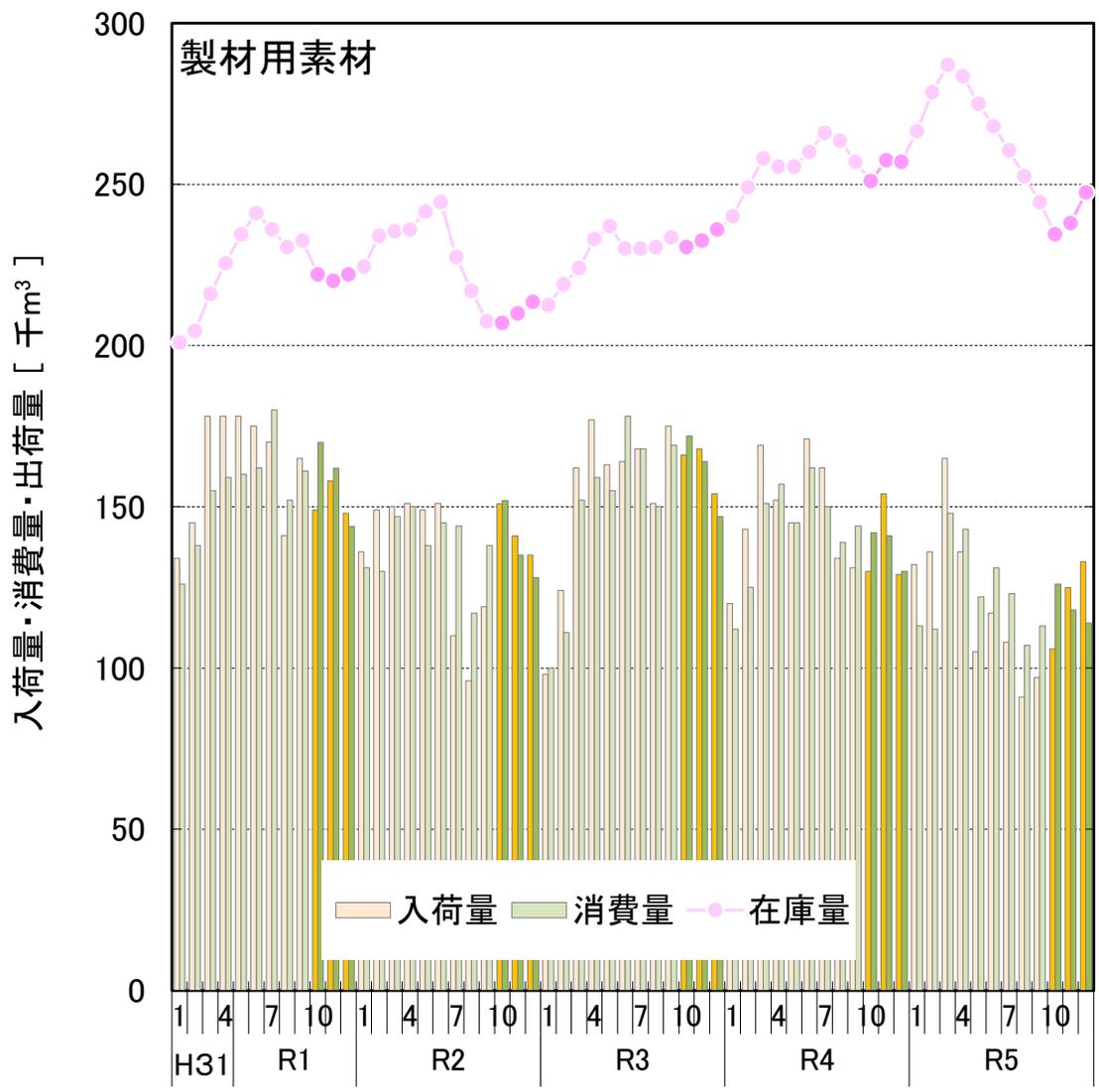
○ 関東主要都市の令和5年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より81,619㎡減少した。この期間の木造は30,378㎡増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

○ 東北5県の製材用素材の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比－12%、消費量は－13%、在庫量は12月比－4%。
 ○ 製材品の令和5年10～12月の生産量は昨年同期比－12%、出荷量は－11%、在庫量は12月比＋4%。

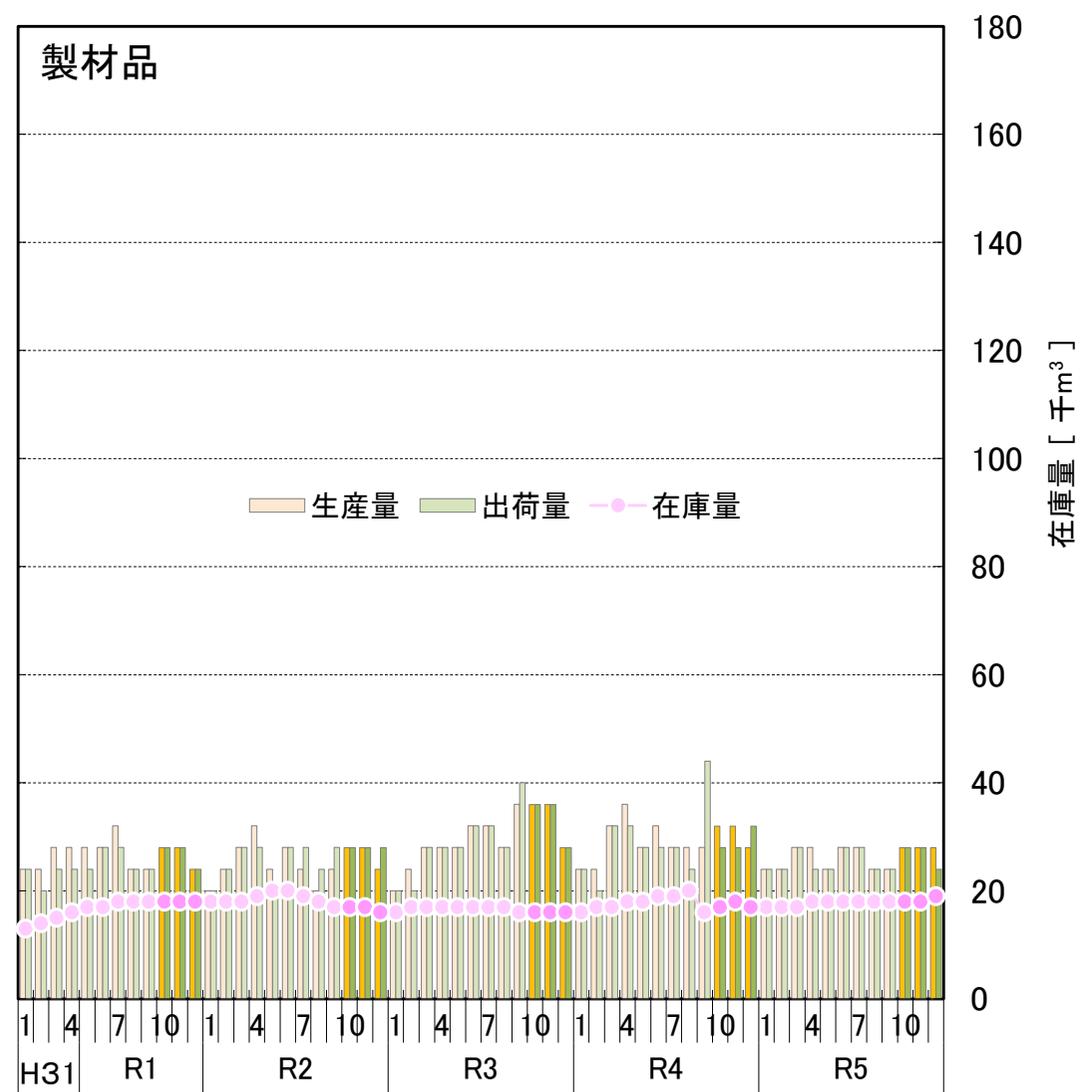
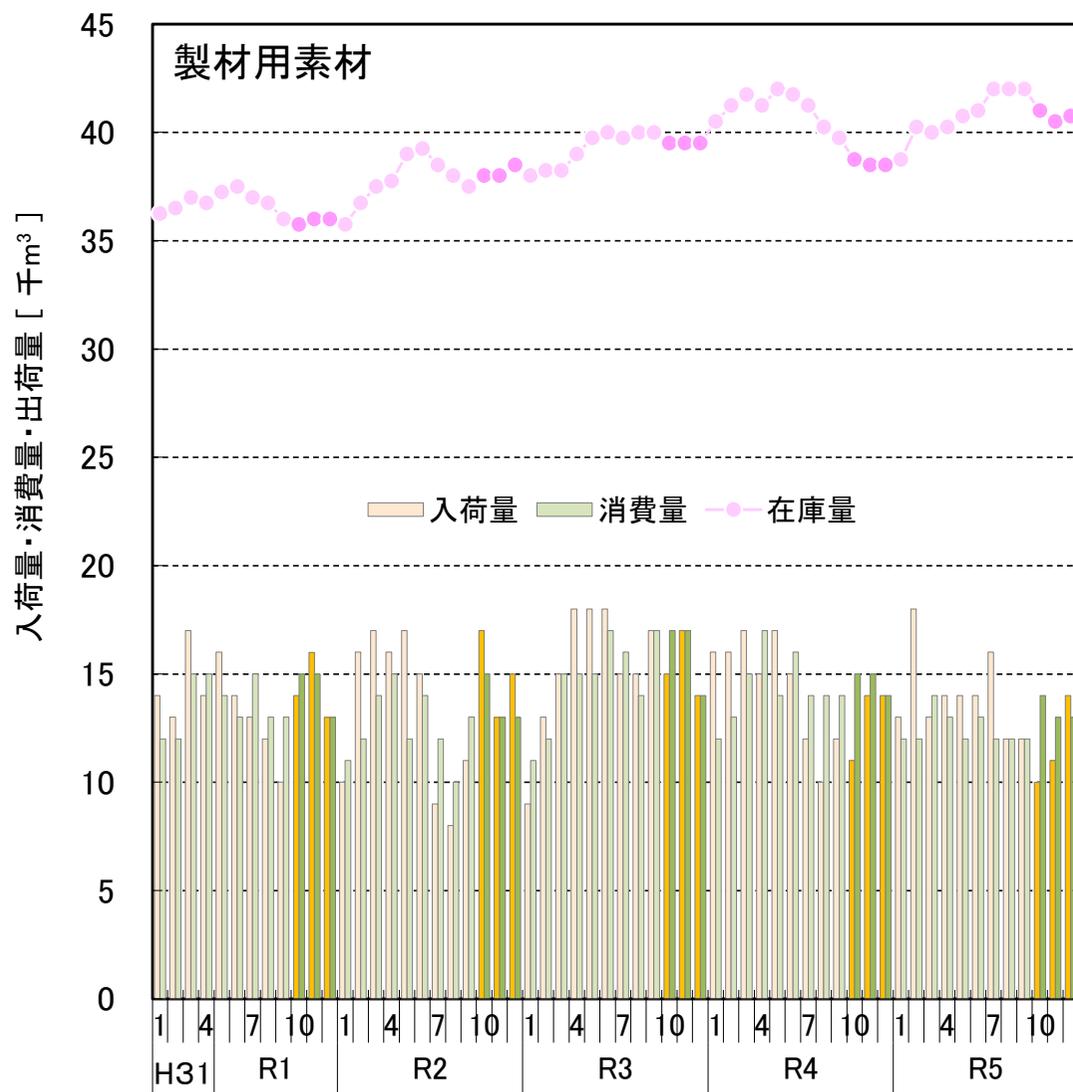


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

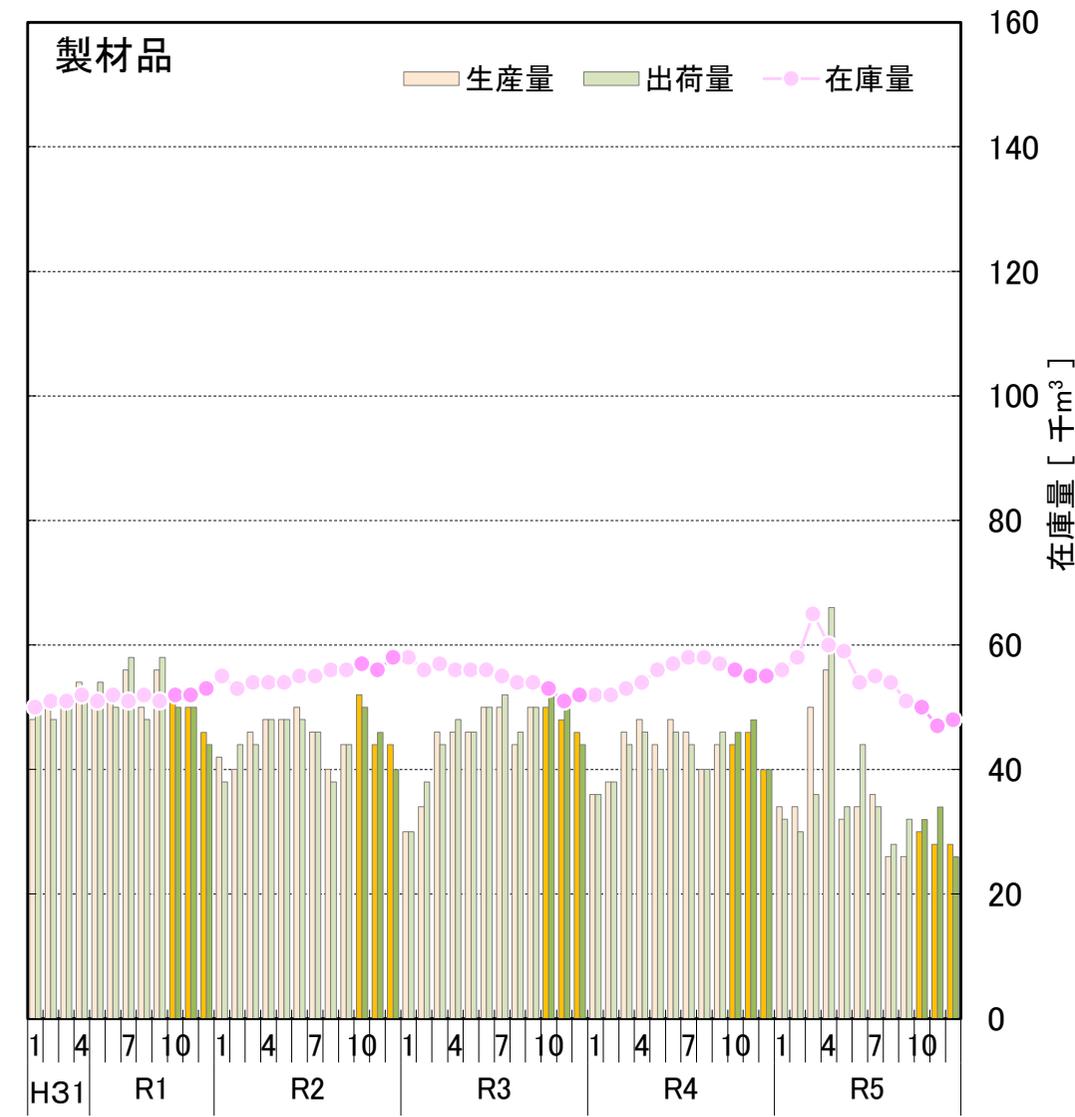
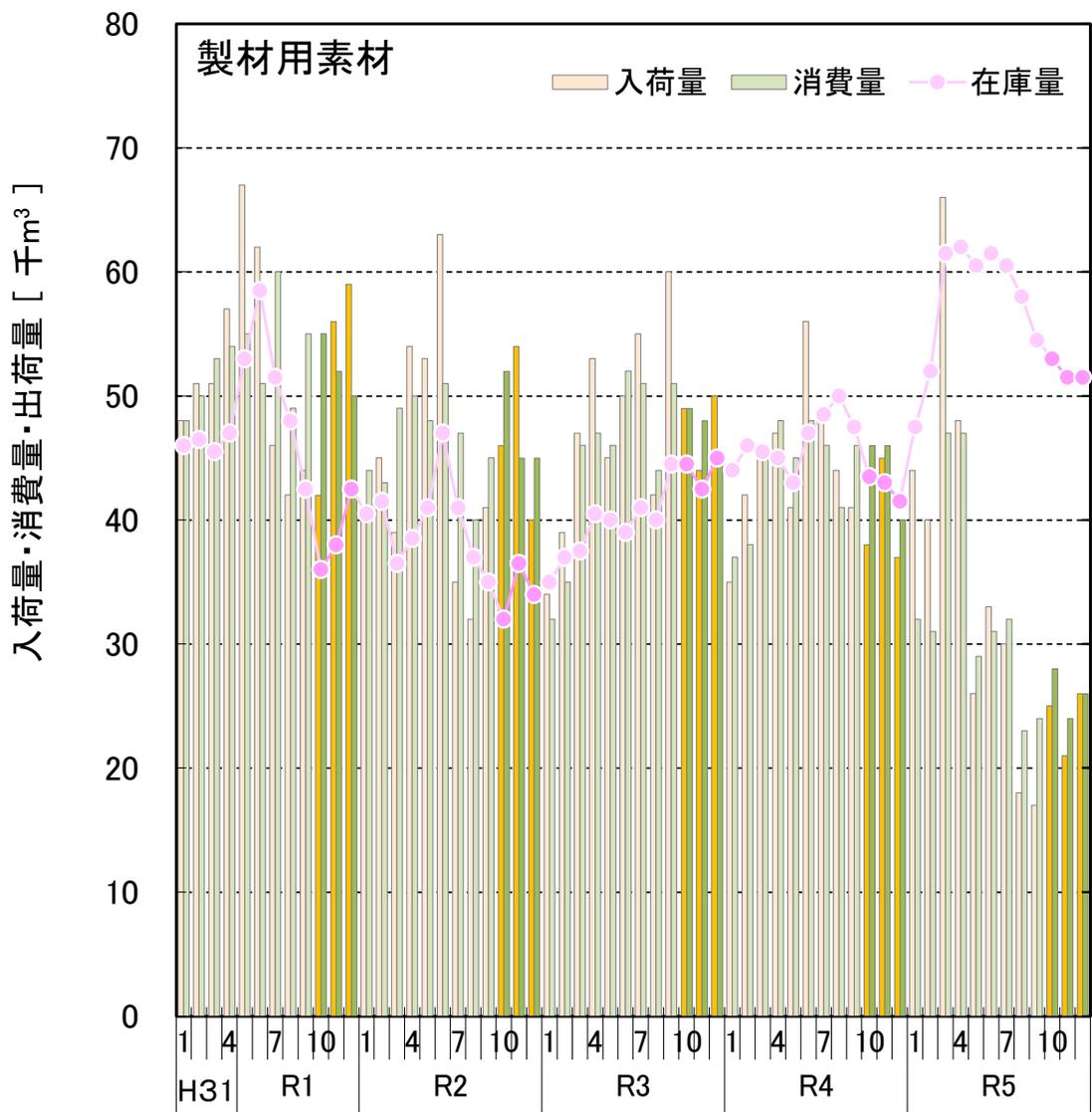
■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

- 製材用素材の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比－10%、消費量は－9%、在庫量は12月比＋6%。
- 製材品の令和5年10～12月の生産量は昨年同期比－9%、出荷量は－9%、在庫量は12月比＋12%。



■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

○ 製材用素材の令和5年10～12月の入荷量は去年同期比－40%、消費量は－41%、在庫量は12月比＋24%。
 ○ 製材品の令和5年10～12月の生産量は去年同期比－34%、出荷量は－31%、在庫量は12月比－13%。

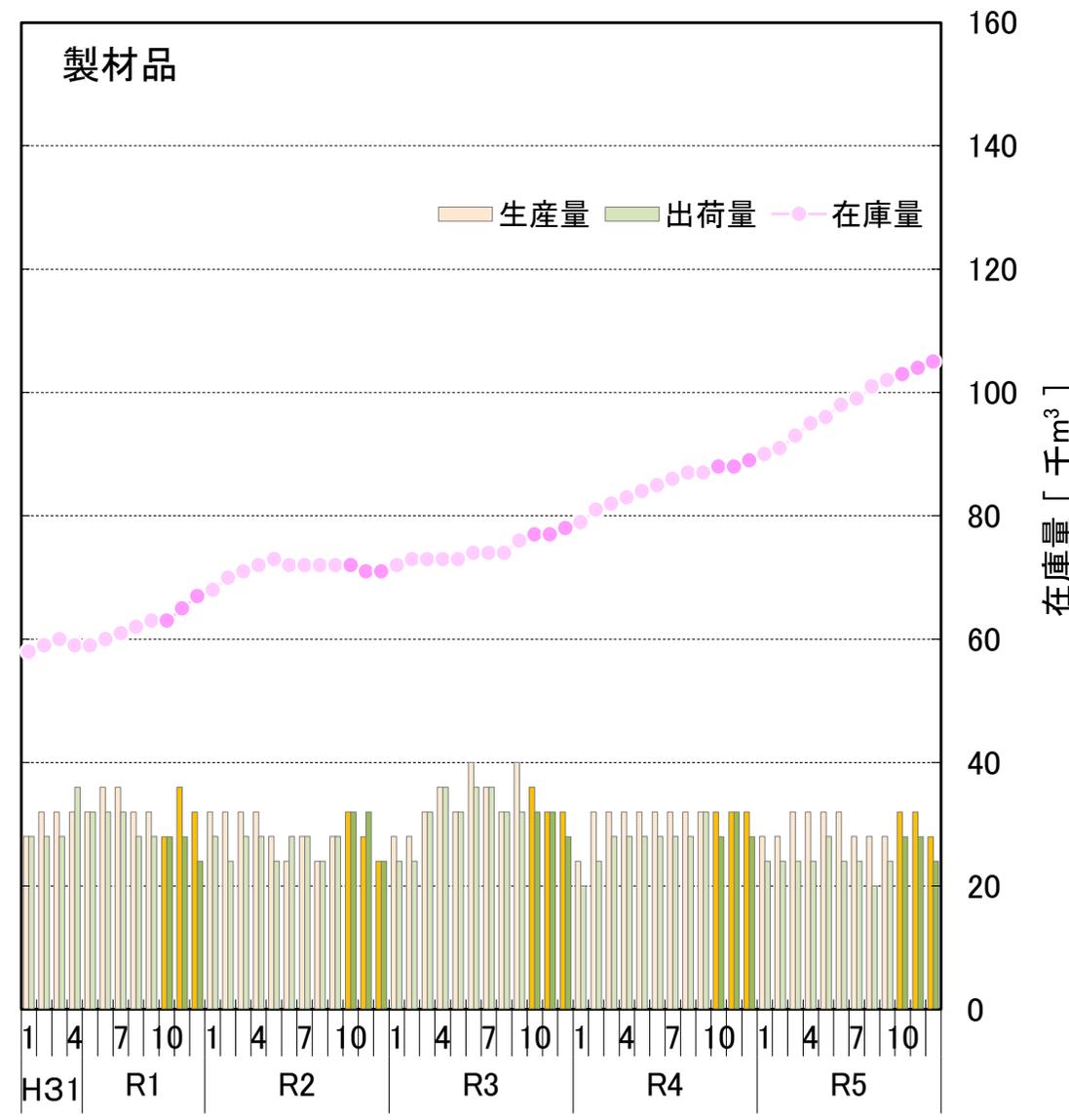
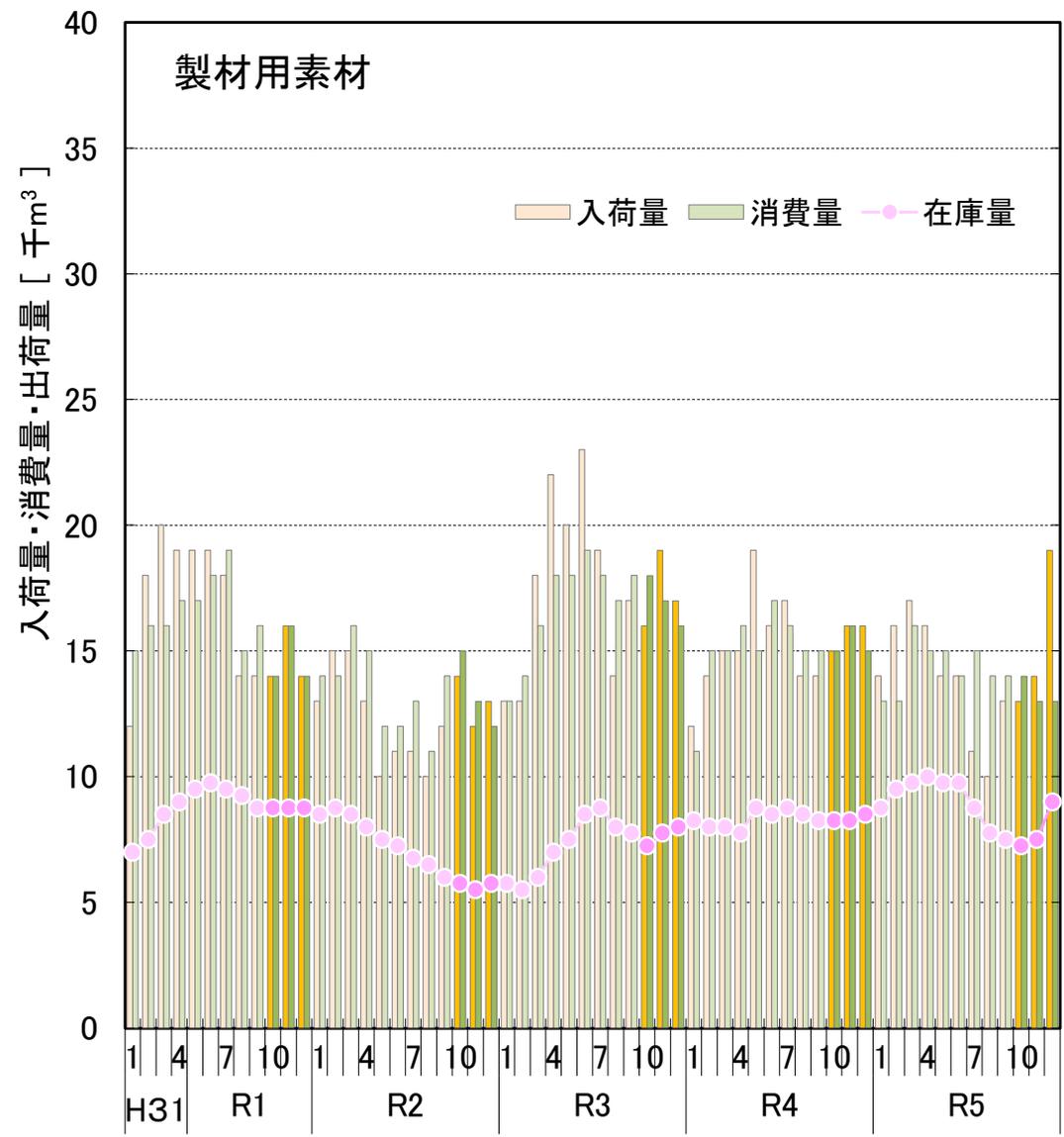


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

○ 製材用素材の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比－2%、消費量は－13%、在庫量は12月比＋6%。
 ○ 製材品の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比－4%、消費量は－9%、在庫量は12月比＋18%。

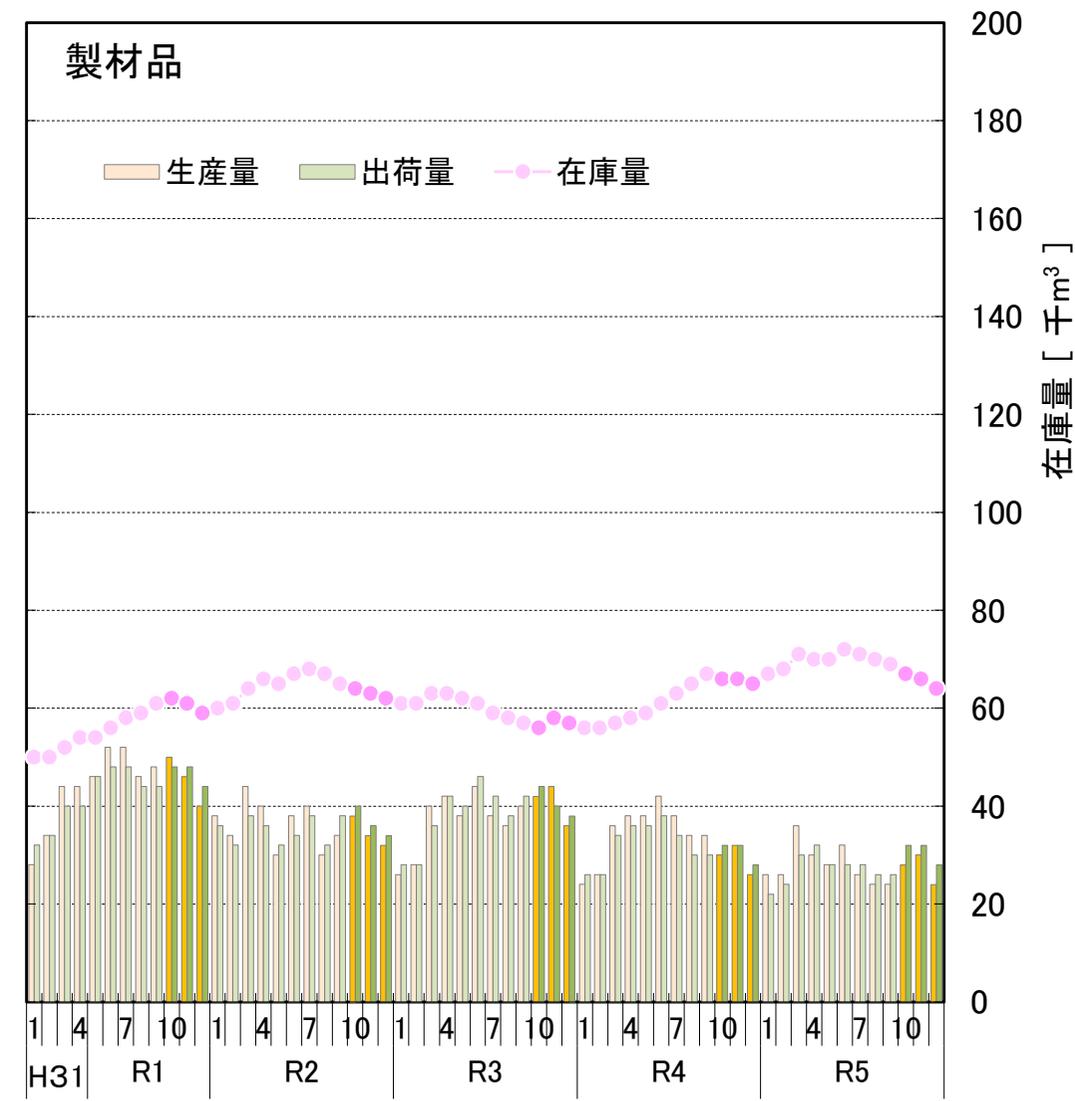
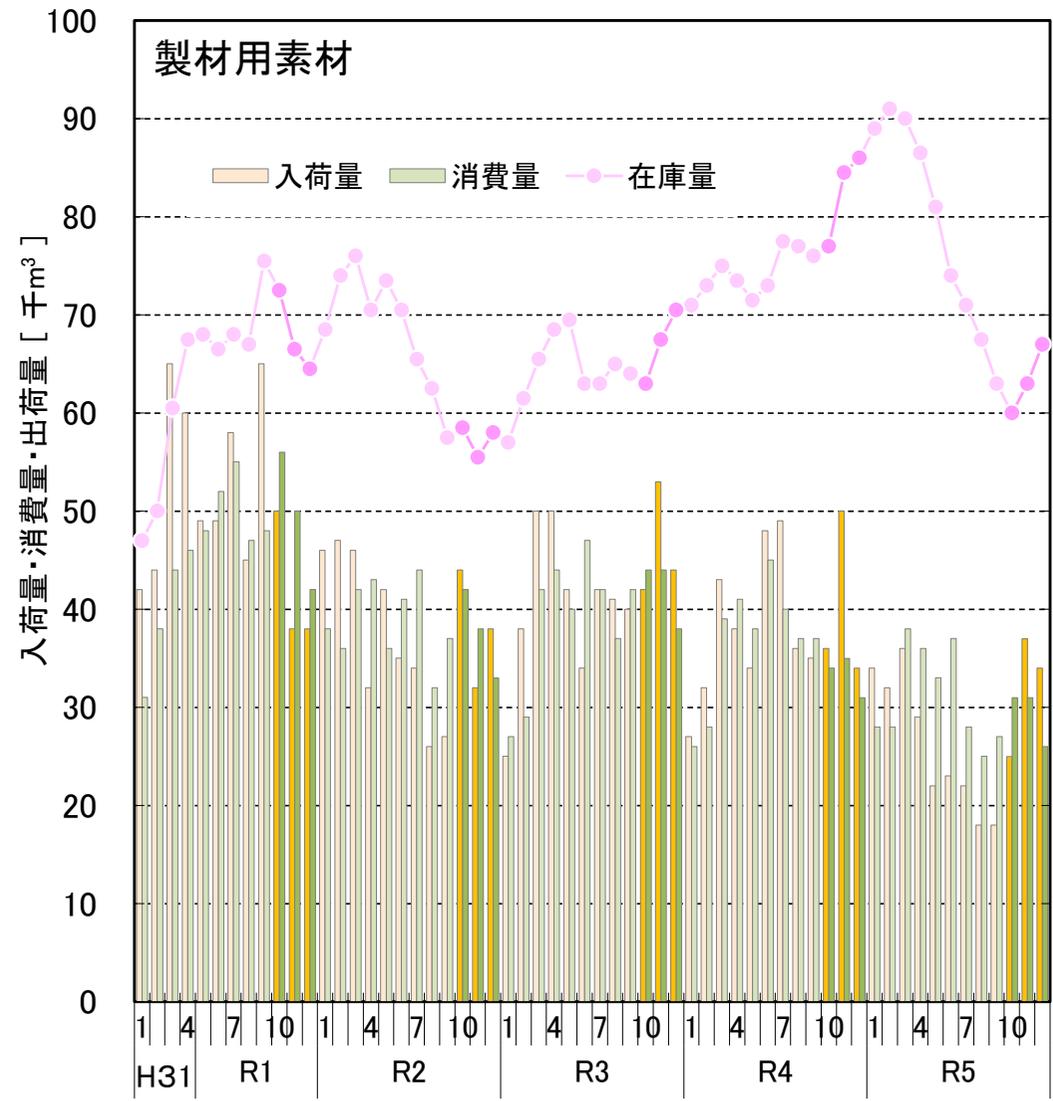


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

○ 製材用素材の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比－20%、消費量は－12%、在庫量は12月比－22%。
 ○ 製材品の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比－7%、消費量は±0%、在庫量は12月比－2%。

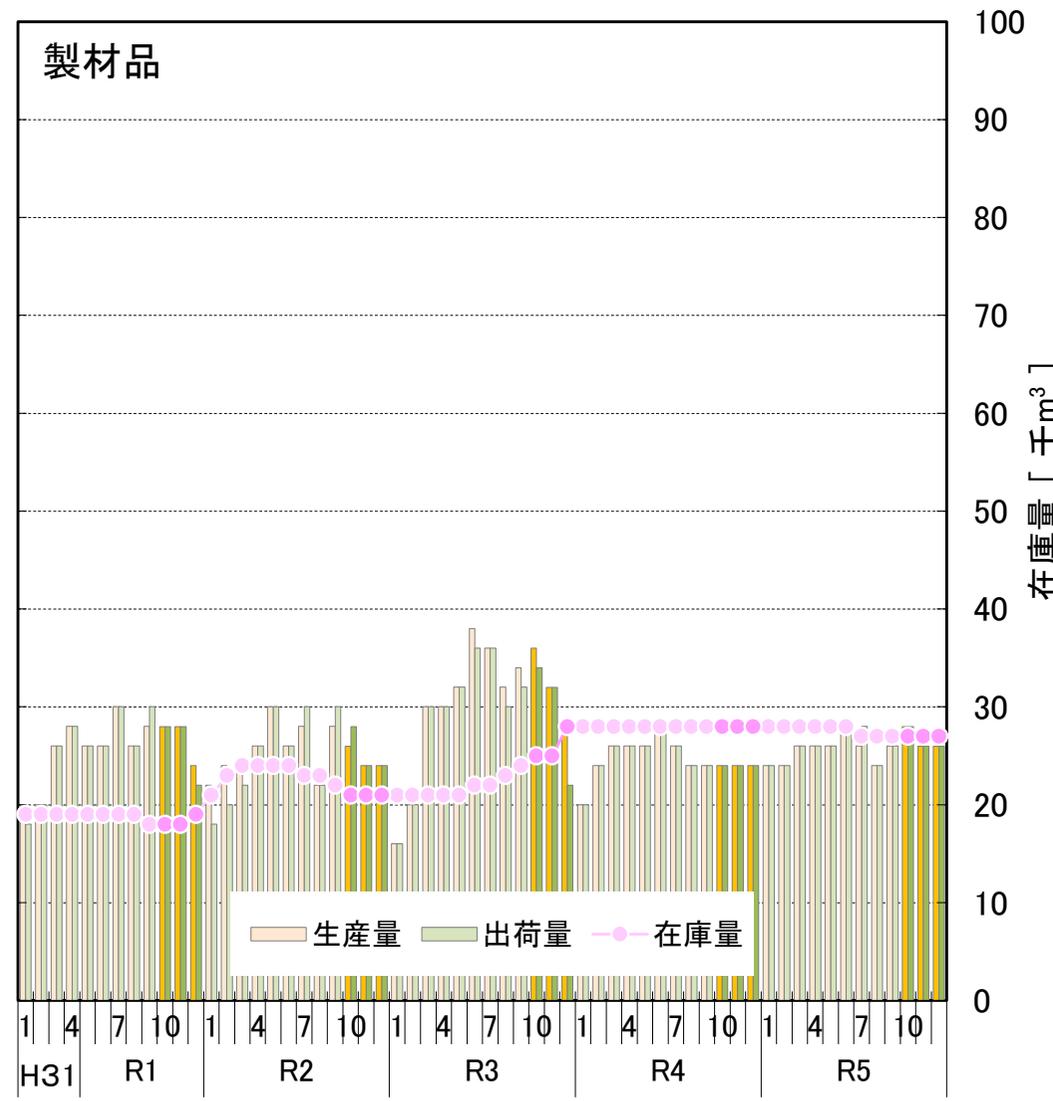
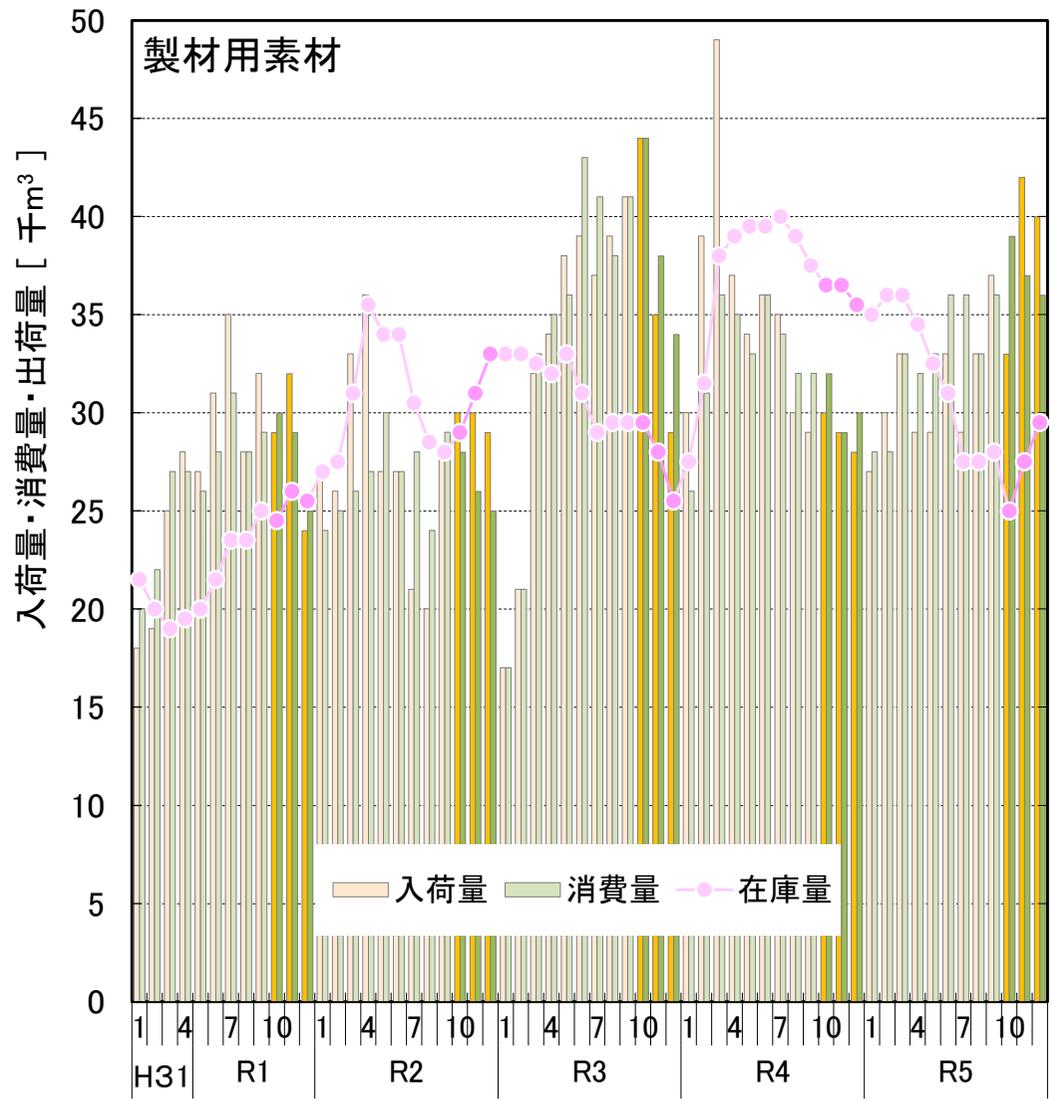


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

○ 製材用素材の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比+32%、消費量は+23%、在庫量は12月比-17%。
 ○ 製材品の令和5年10～12月の入荷量は昨年同期比+11%、消費量は+11%、在庫量は12月比-4%。

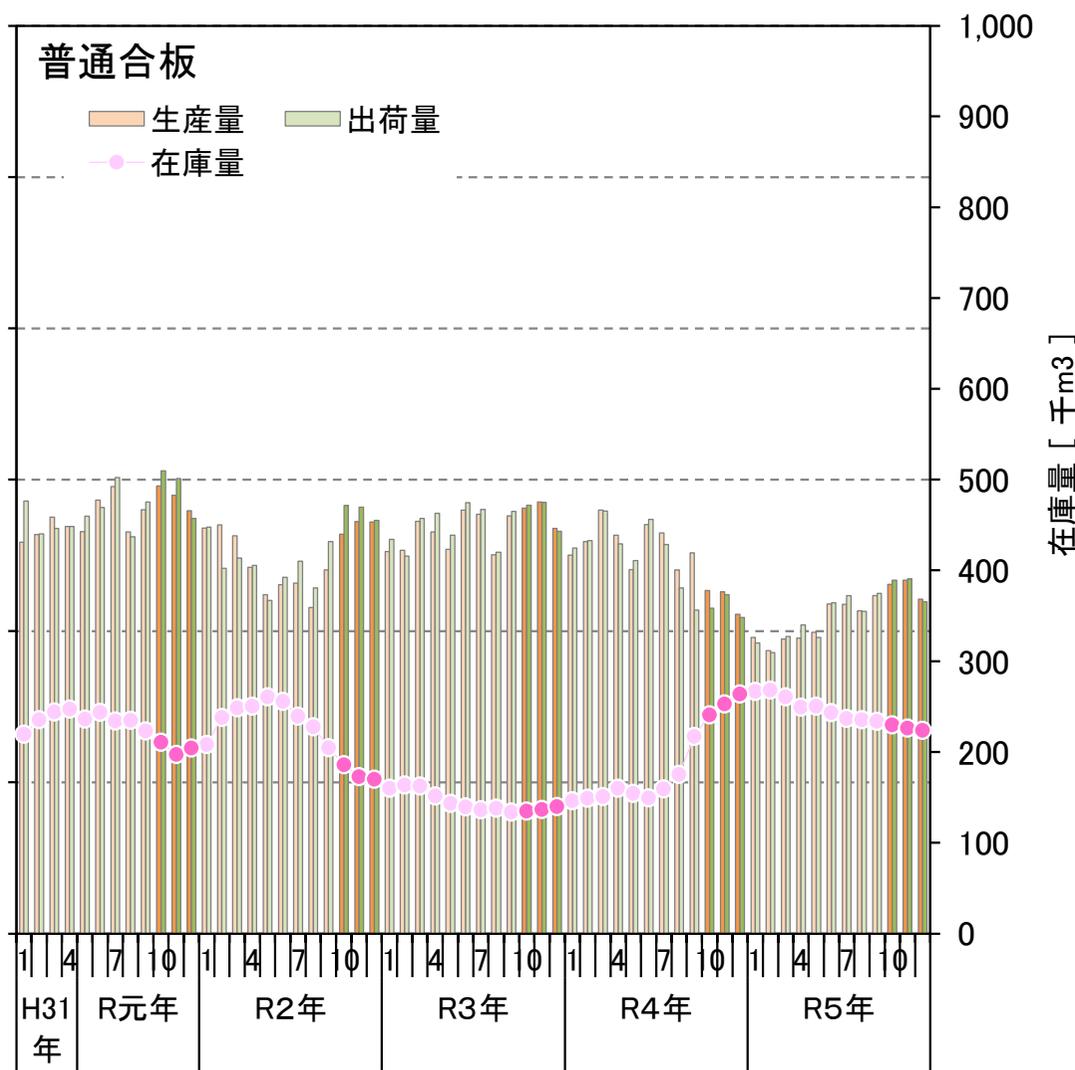
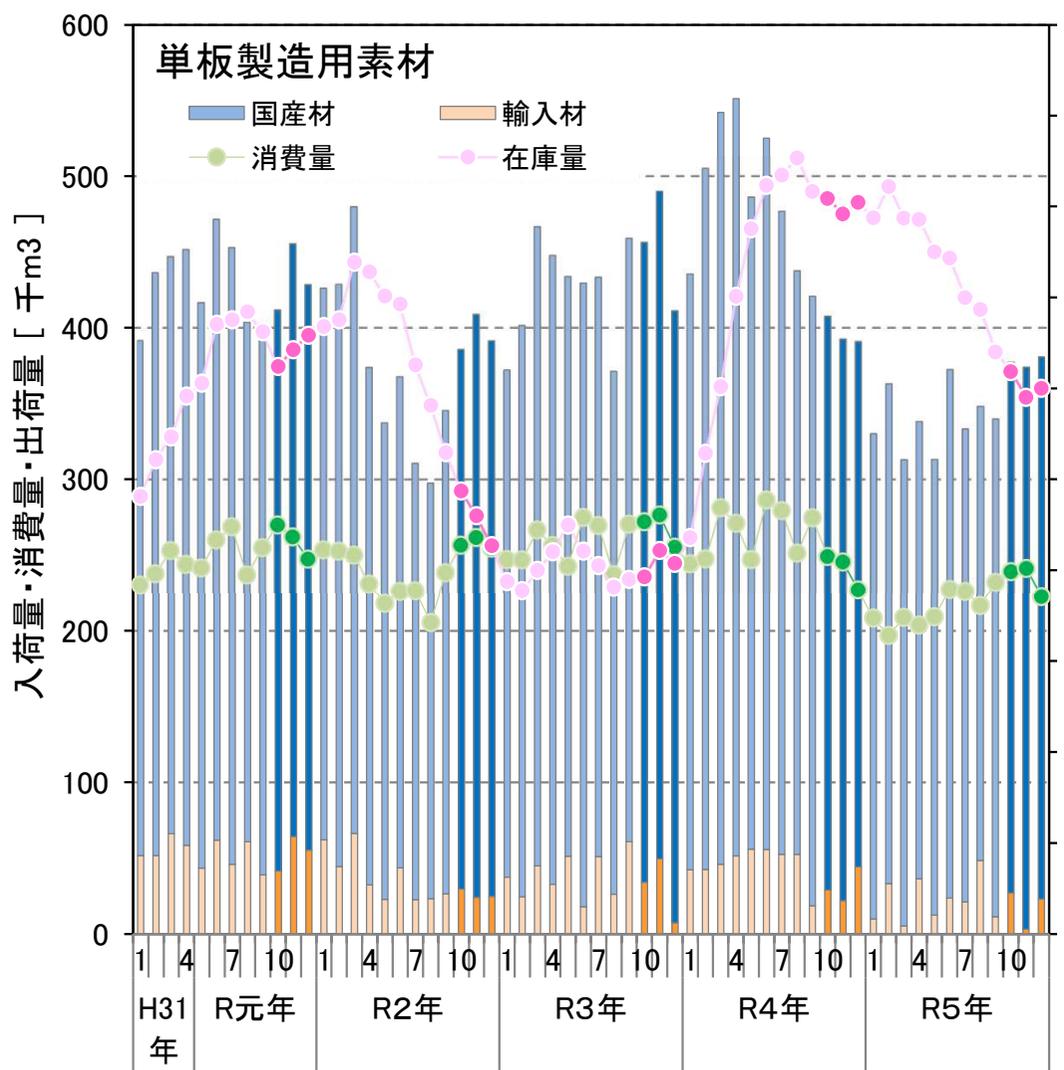


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（平成31年1月～令和5年12月）

- 単板製造用素材の令和5年10～12月期の入荷量は去年同期比－5%、うち国産材は－2%、消費量は－3%、在庫量は12月比－25%。
- 普通合板の令和5年10～12月期の生産量は去年同期比＋3%、出荷量は＋6%、在庫量は12月比－15%。

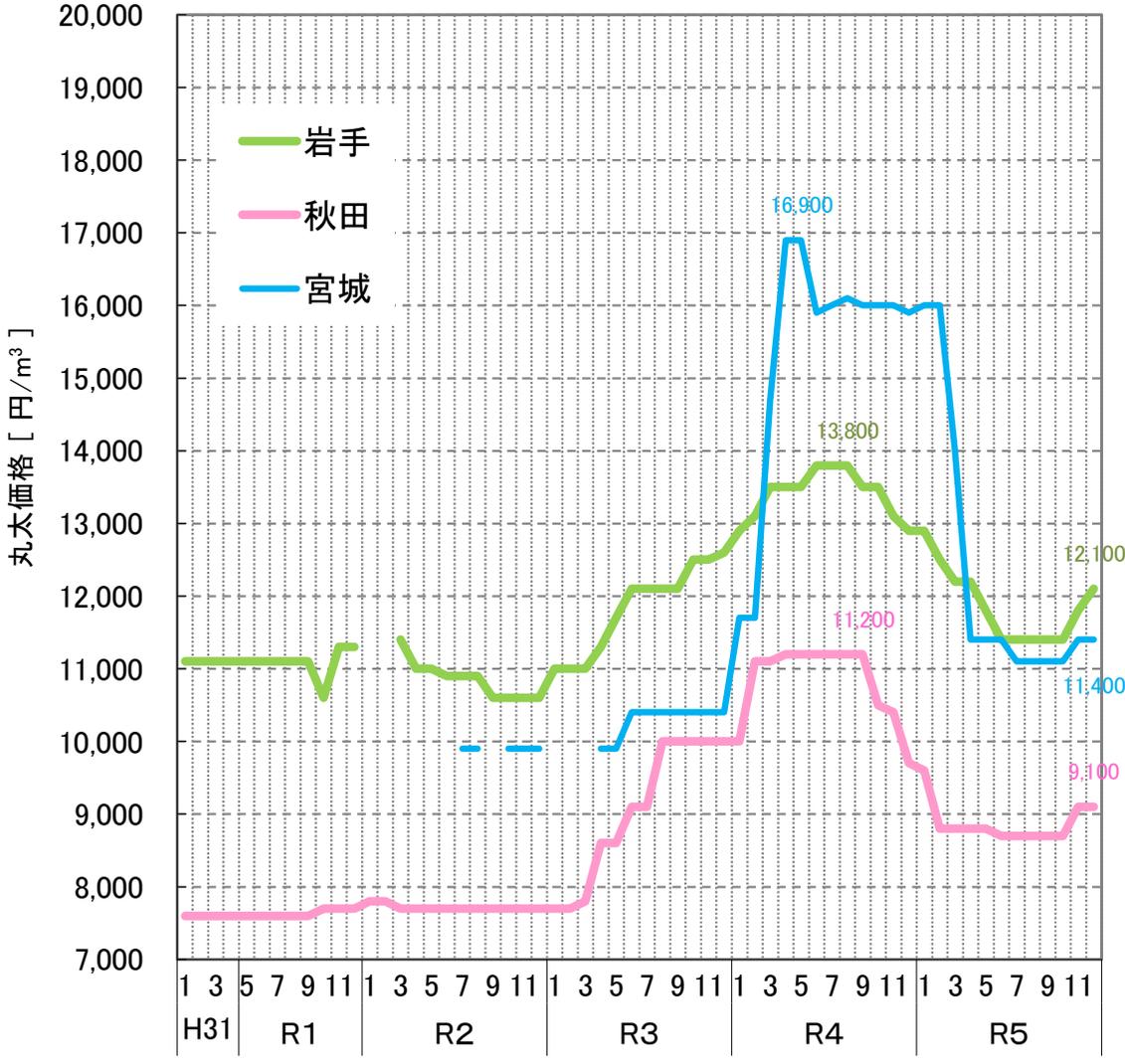


出典：農林水産省「合板統計」

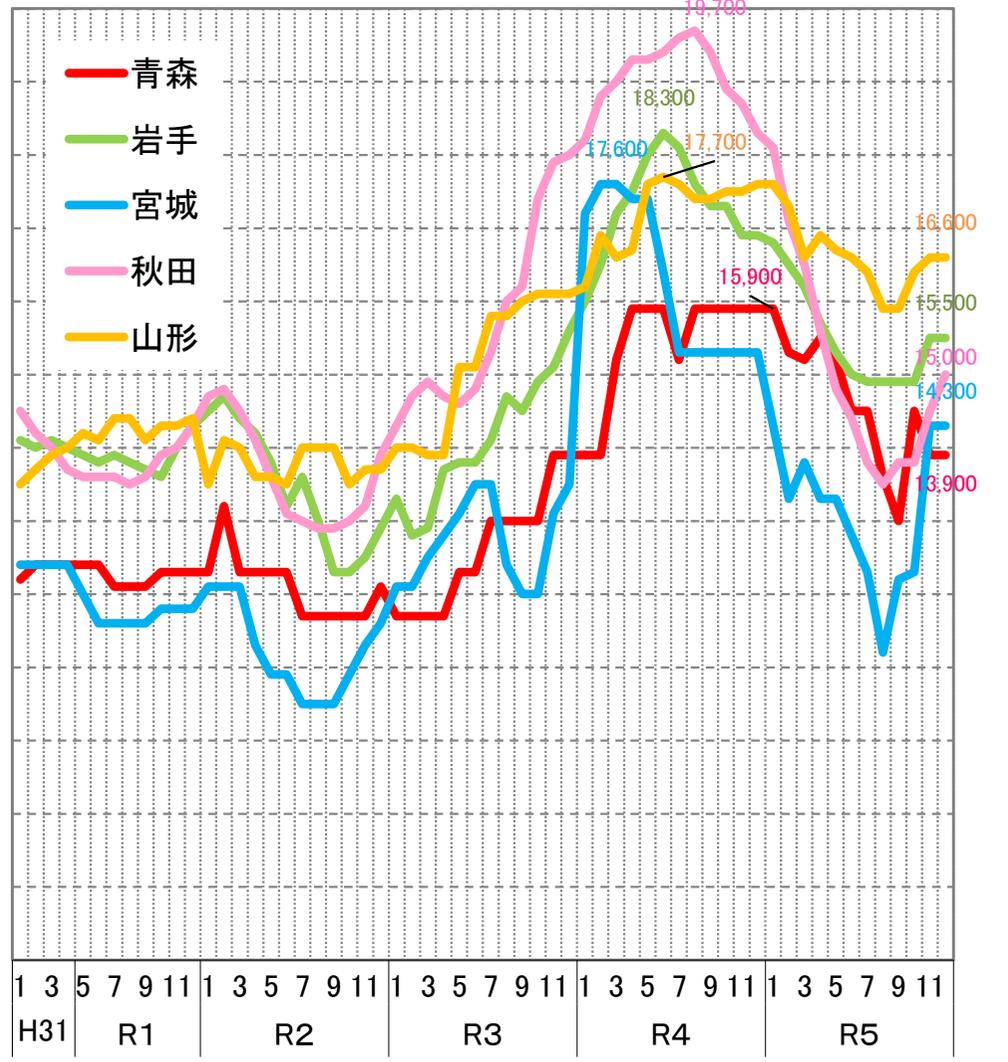
■ すぎ丸太価格の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

○ すぎ小丸太価格は、各県6月以降横ばいだったが、10月以降は強保合の傾向である。
 ○ すぎ中丸太価格は、各県ピーク時から値下がり傾向にあったが、青森以外の4県では9月から強含んでいる。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)



すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



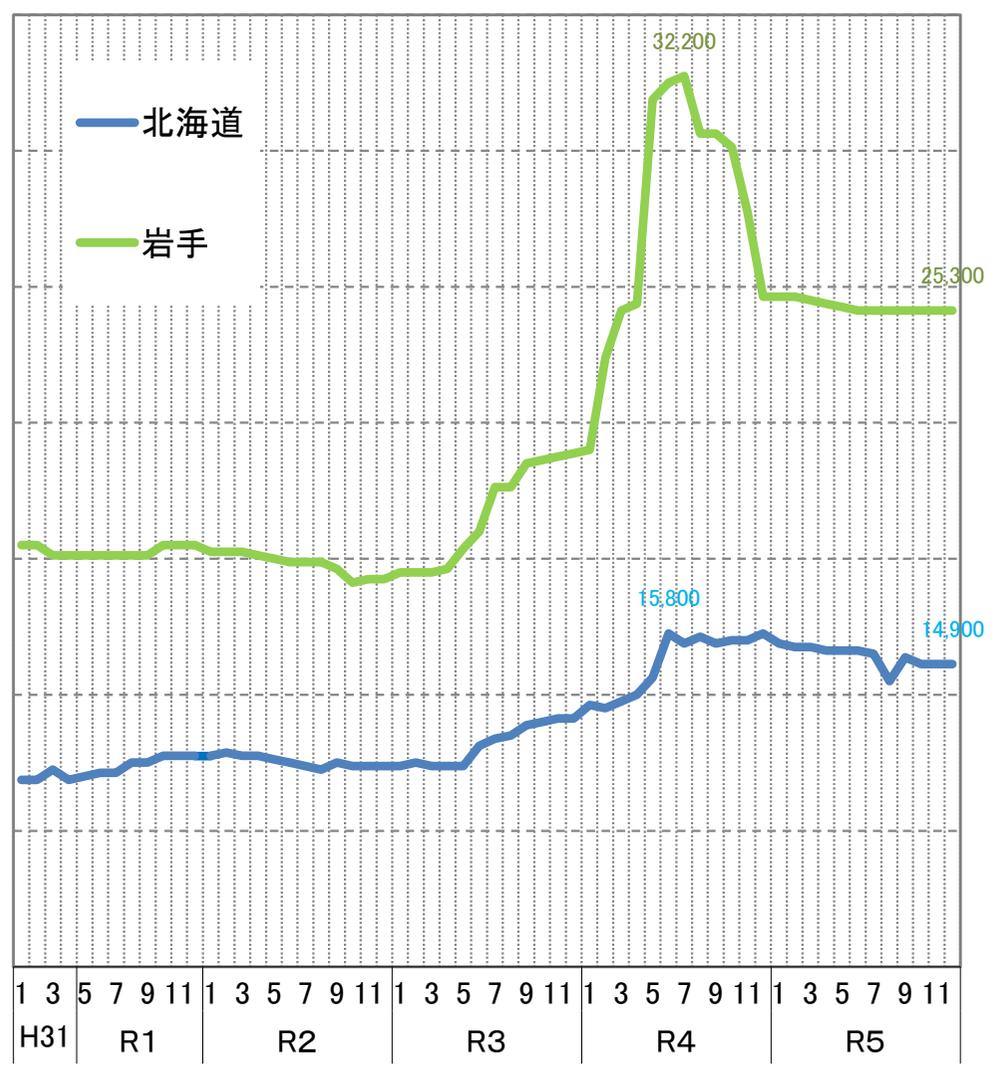
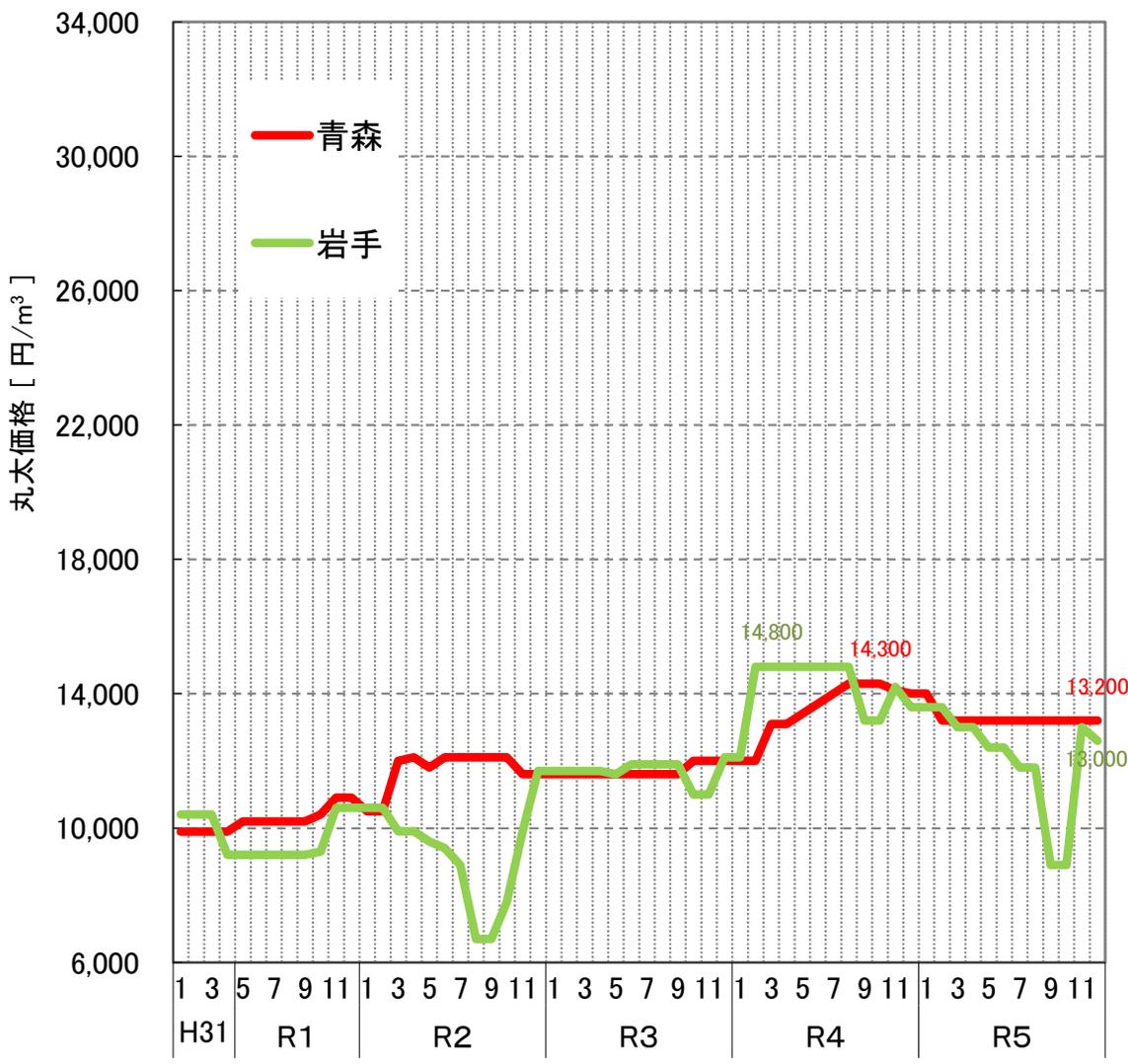
出典:農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ まつ・からまつ丸太価格の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

○ まつ中丸太価格は青森は横ばい、岩手は10～11月に値上がりしたが、その後は弱含み傾向がみられる。
 ○ からまつ丸太価格は、10月以降、岩手、北海道ともに横ばい。価格差は10,200円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

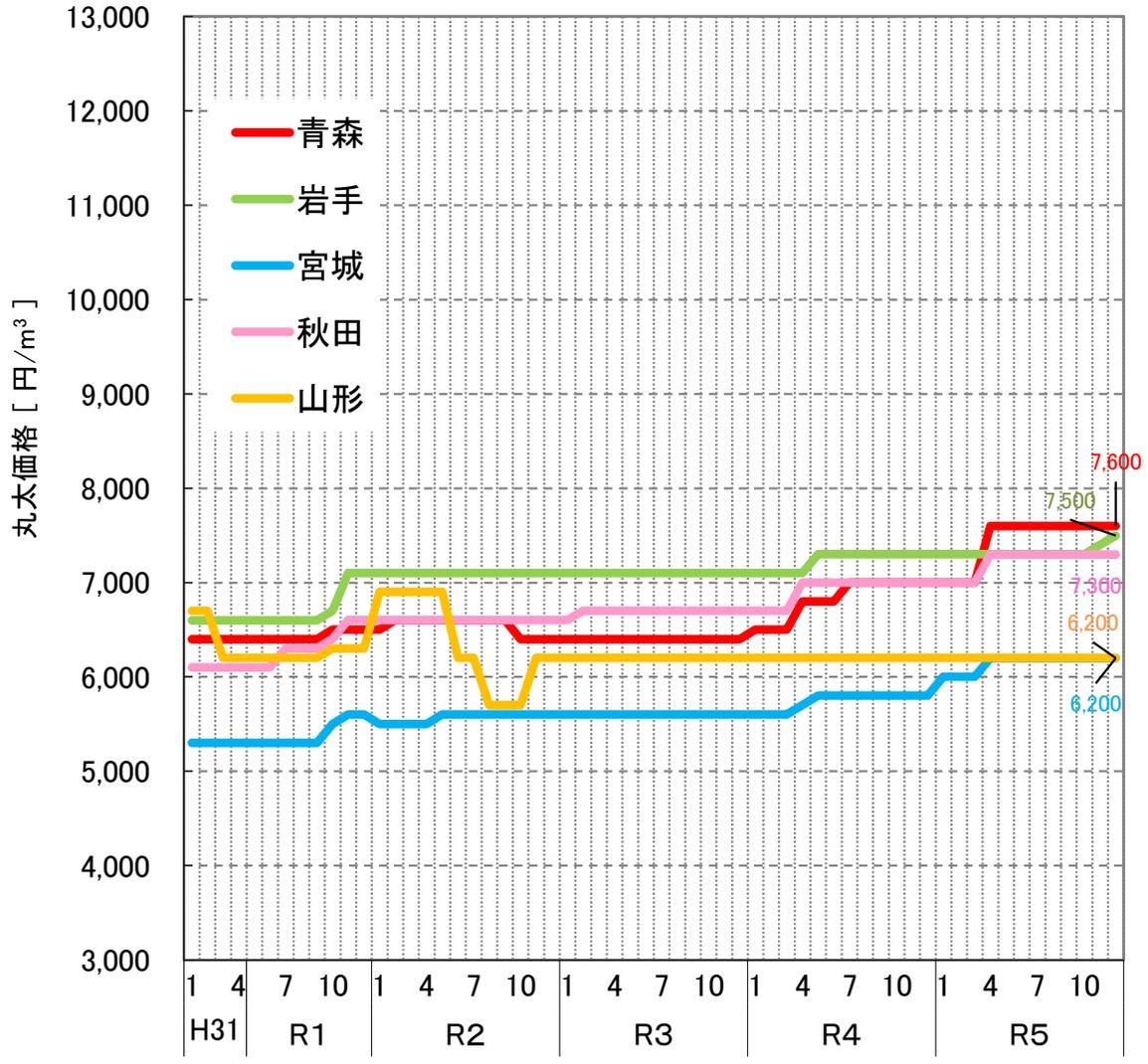


出典:農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

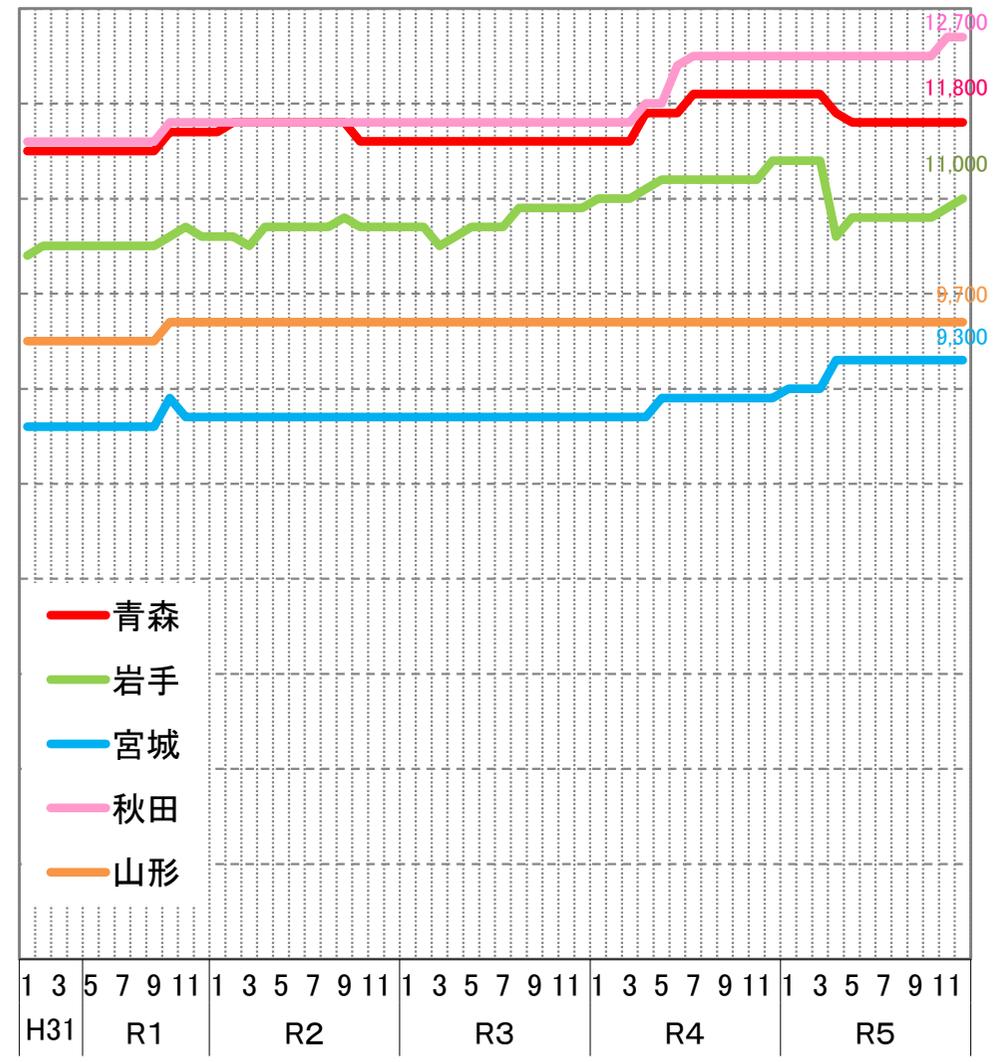
■チップ用丸太価格の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

○ チップ用丸太価格は針葉樹・広葉樹ともほとんどの県で保合だが、針葉樹では岩手が、広葉樹では岩手と秋田で強保合の傾向がみられる。

針葉樹材



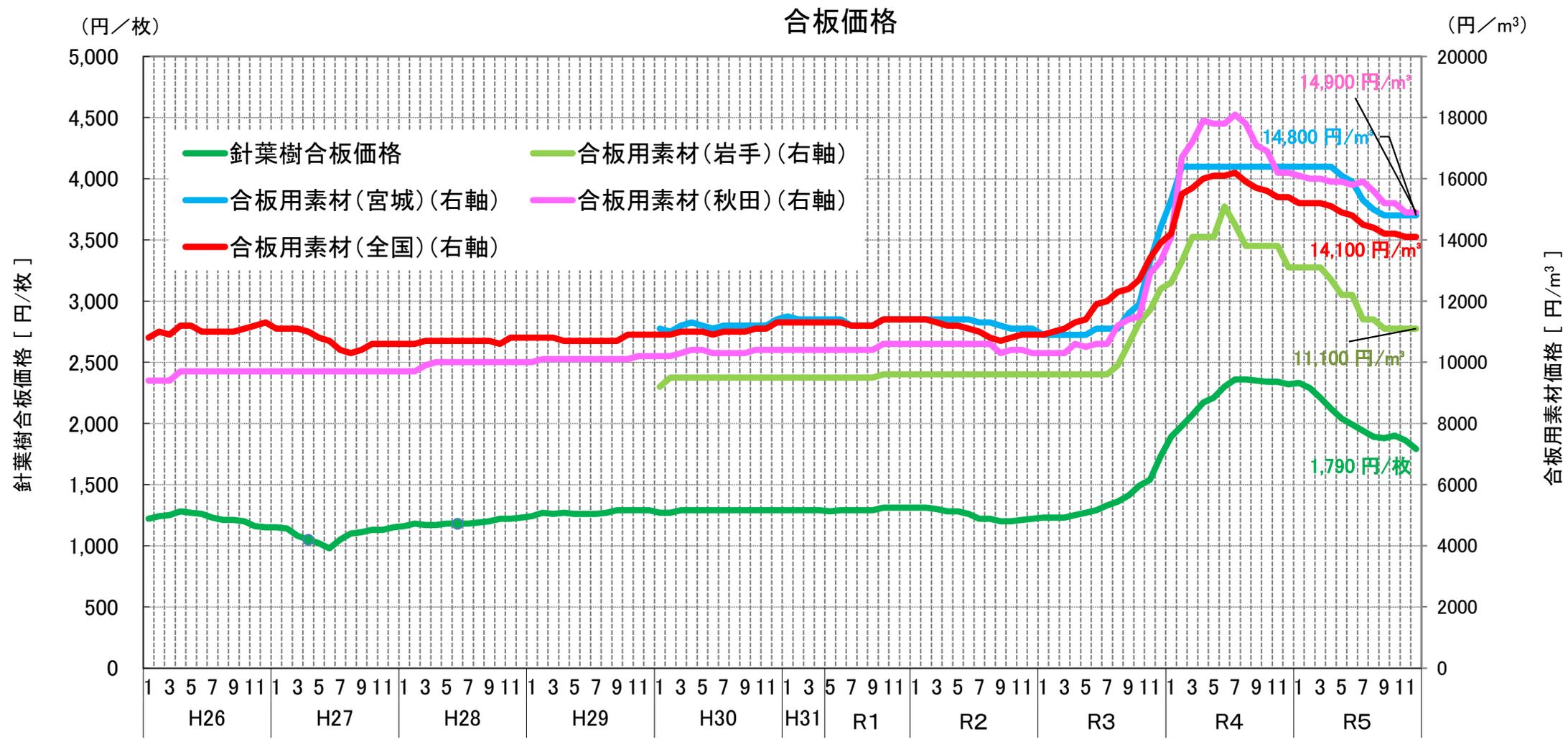
広葉樹材



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

針葉樹合板及び合板用素材価格の推移 (平成26年1月～令和5年12月)

- 針葉樹合板価格は、1,790円/枚。
- 合板用素材価格は、11月以降保合の傾向にある。



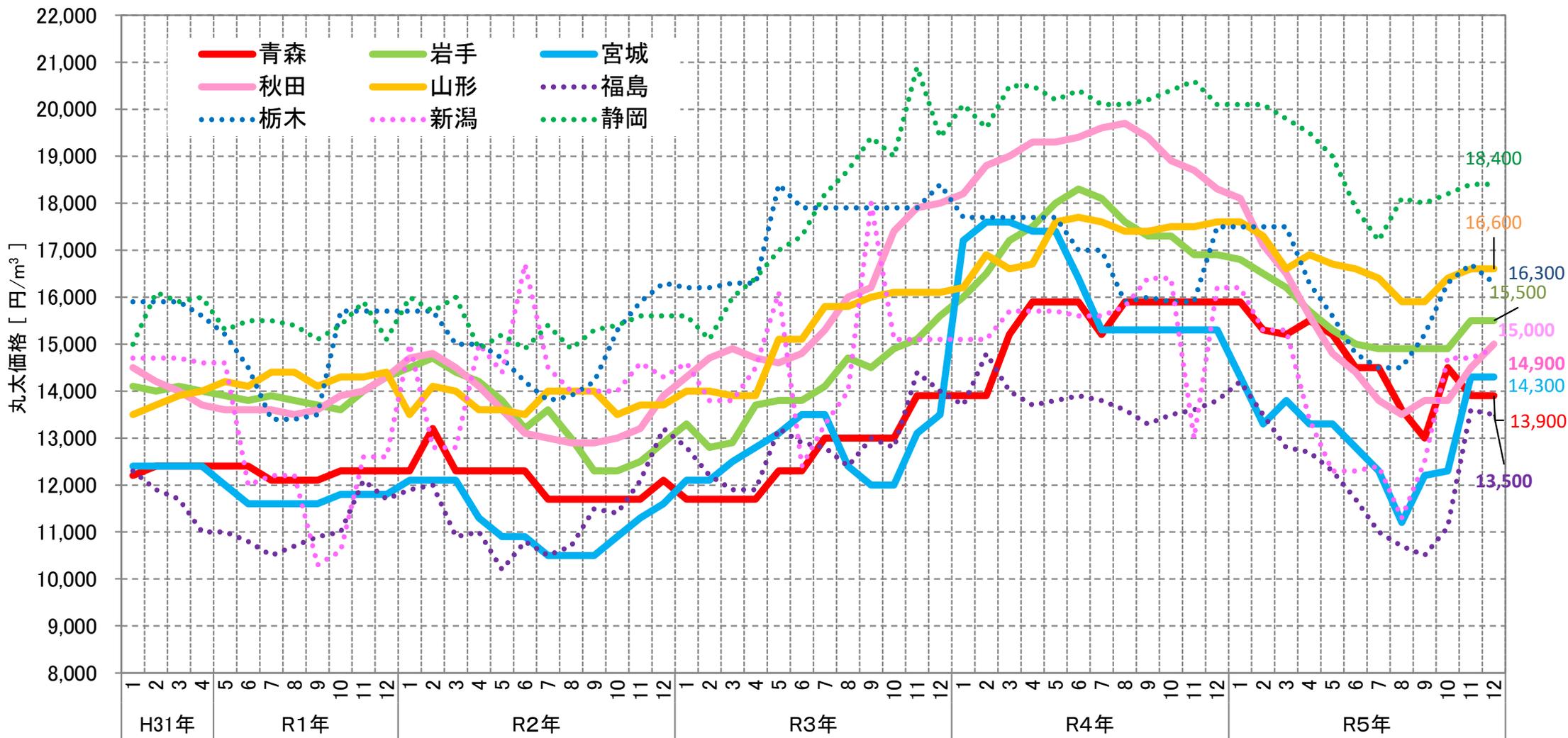
針葉樹合板：厚さ1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」
 ※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。
 ※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較 (平成31年1月～令和5年12月)

○ すぎ中丸太の価格は、秋田、新潟で値上がりの傾向が、その他の県では11月以降、弱保合・保合の傾向が見られる。

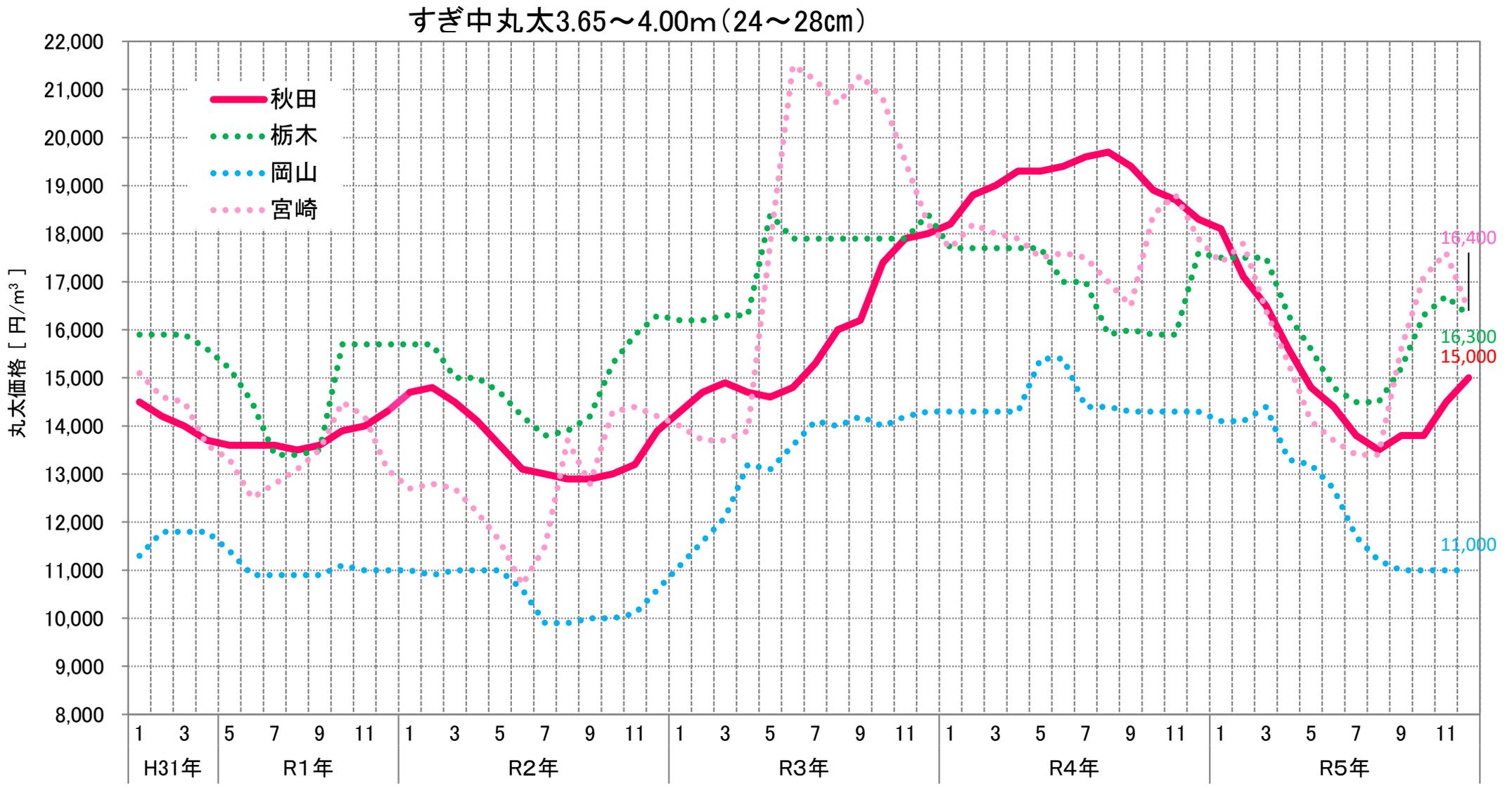
すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較 (平成31年1月～令和5年12月)

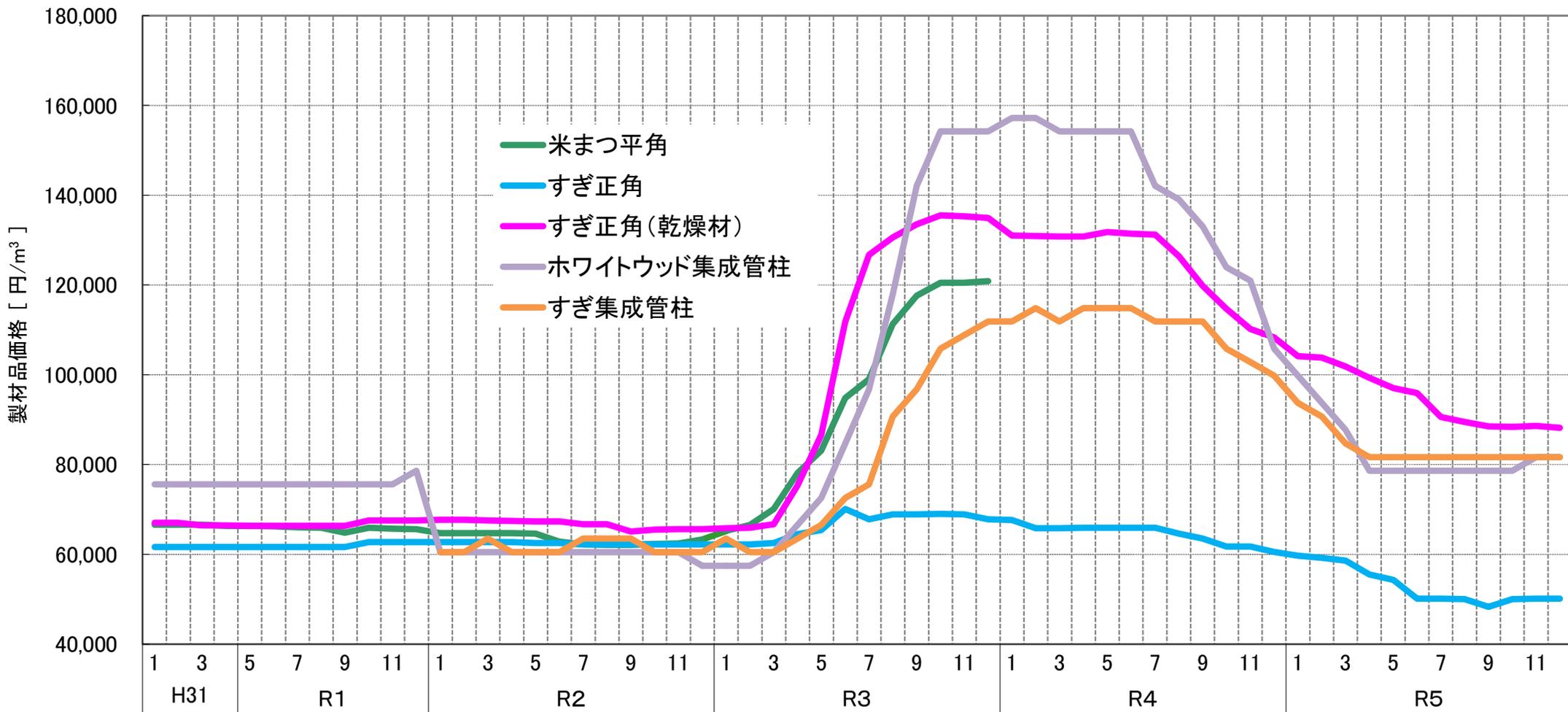
○ 秋田、栃木、宮崎は8月から値上がり傾向だったが、栃木、宮崎は11月以降弱含んでいる。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移 (平成31年1月～令和5年12月)

○ 各製品ともピーク時より値下がり。
 Wウッド集成管柱とすぎ集成管柱の価格は4月より横ばい。スギ正角(乾燥材)は弱保合。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

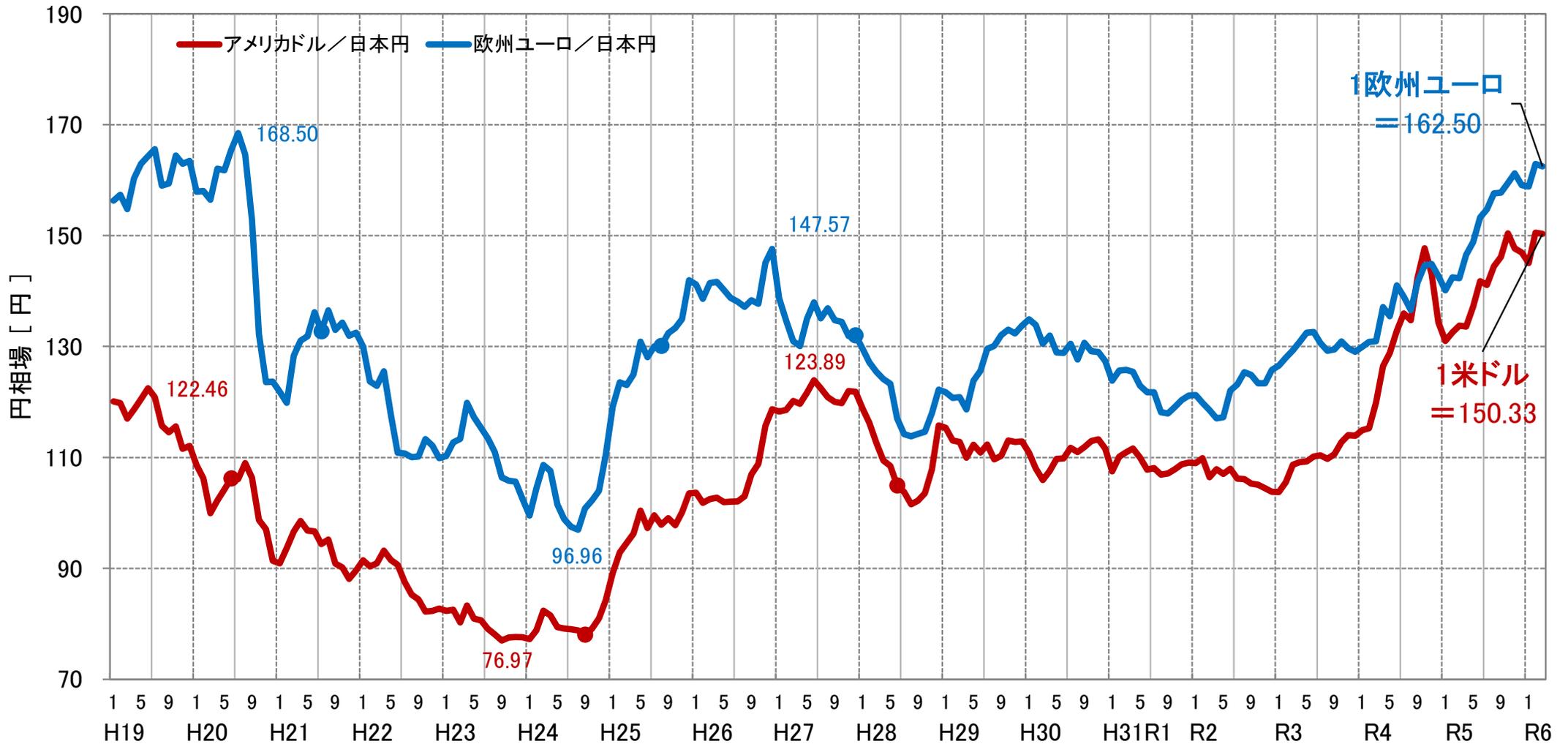
※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

為替レートの推移 (平成19年1月～令和6年3月)

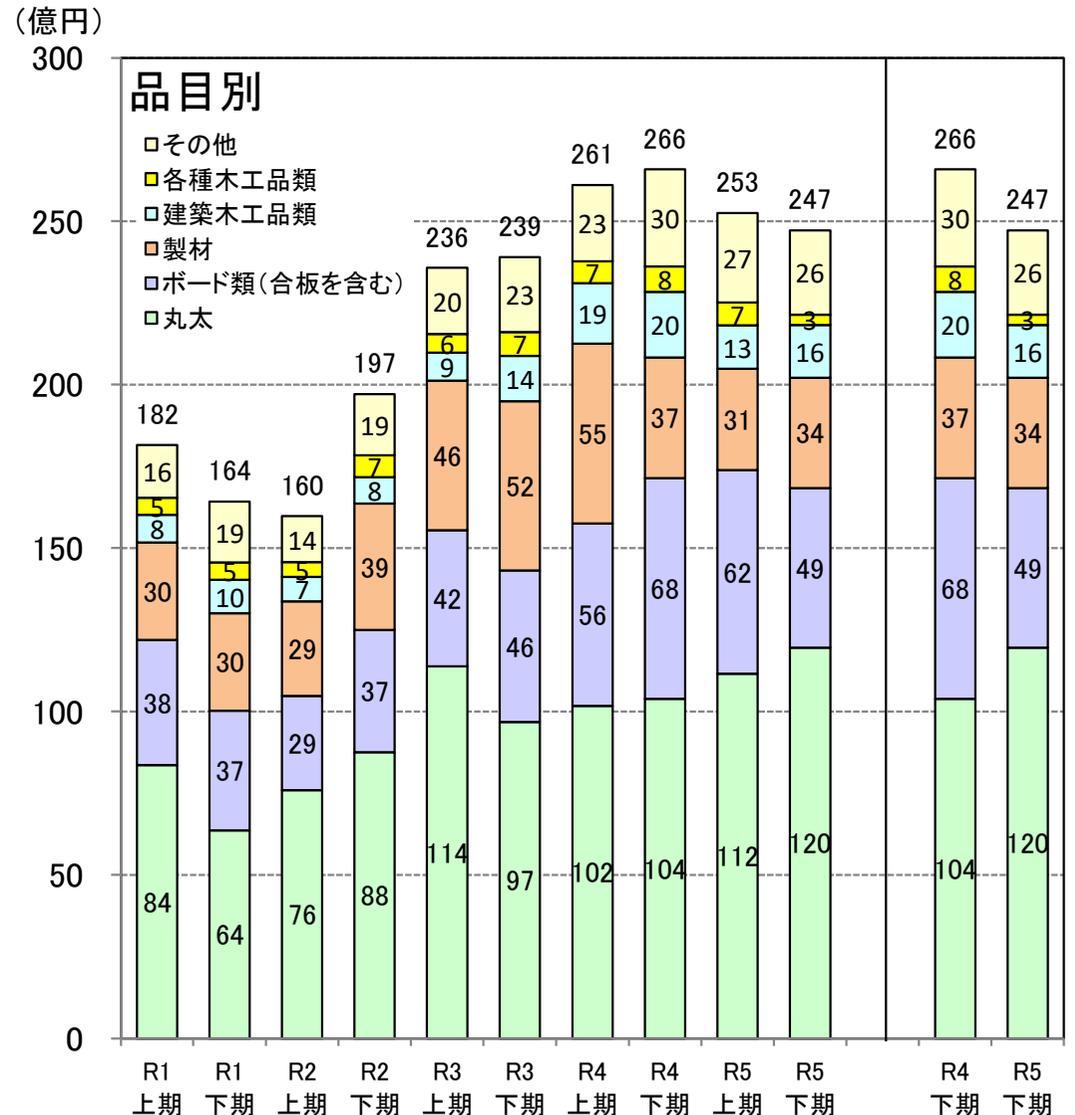
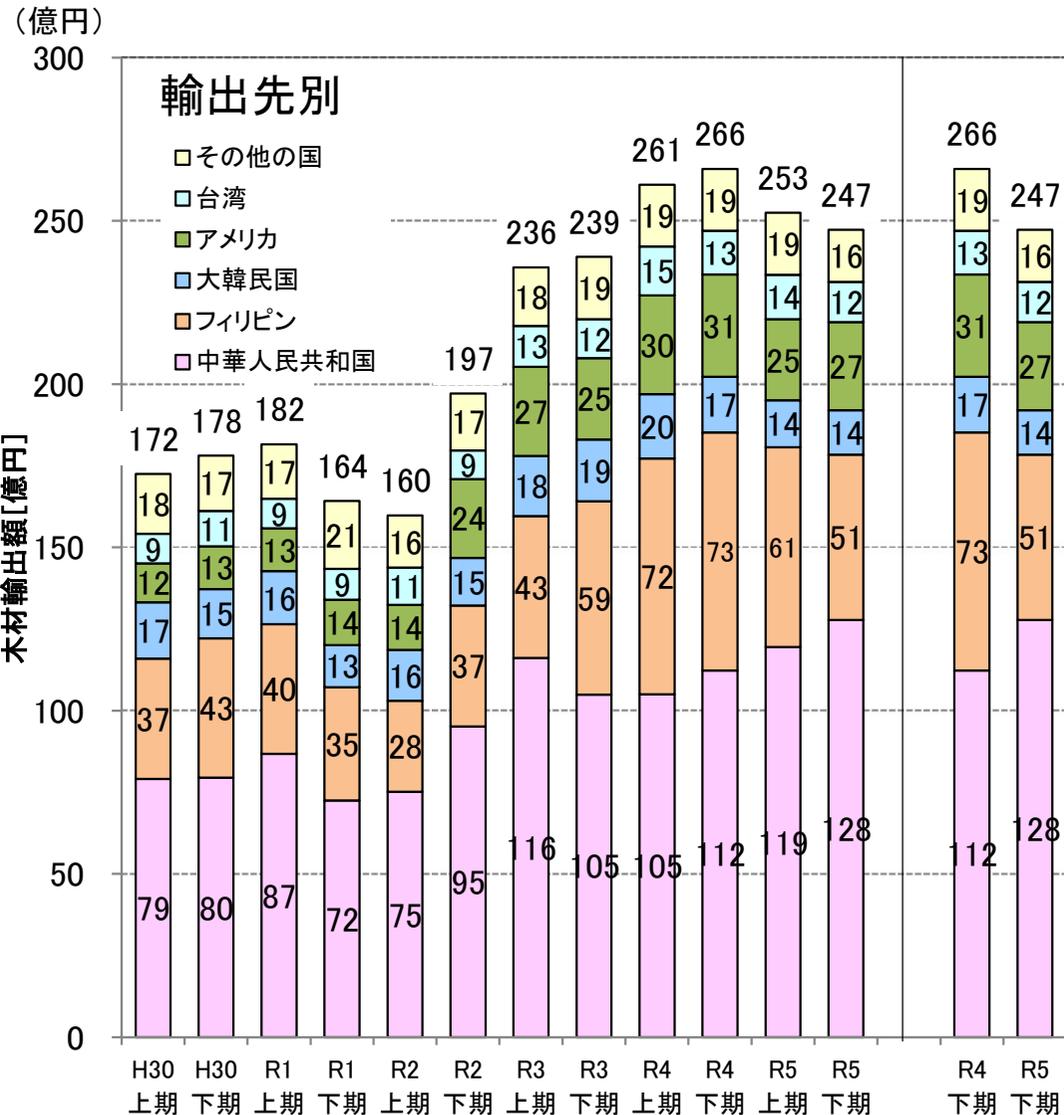
- 米ドルは、3月1日現在150円台前半。
- 欧州ユーロは、3月1日現在160円台前半。



出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は、月間の最高値と最低値の平均)
 (注)：令和6年3月1日現在

輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

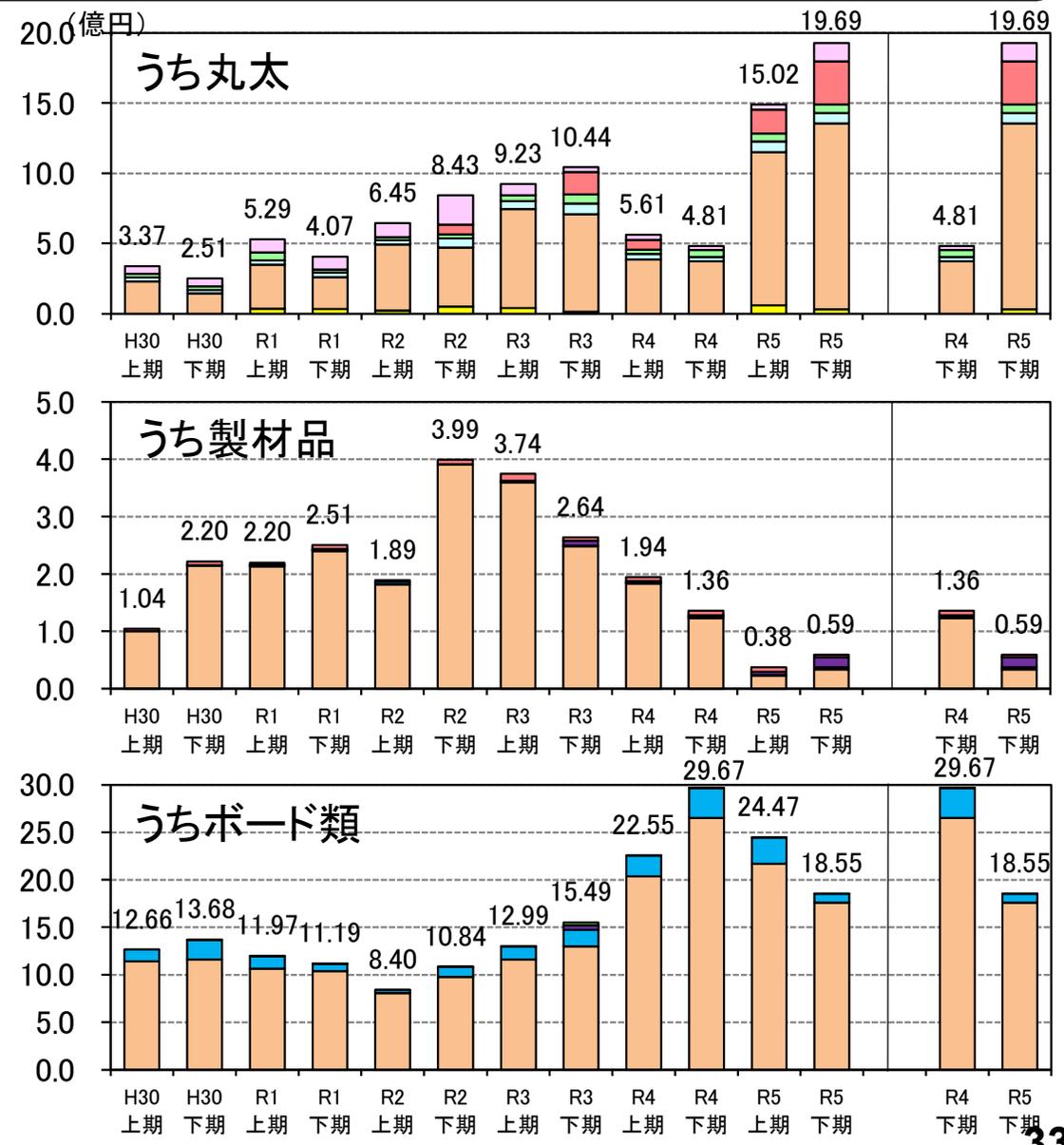
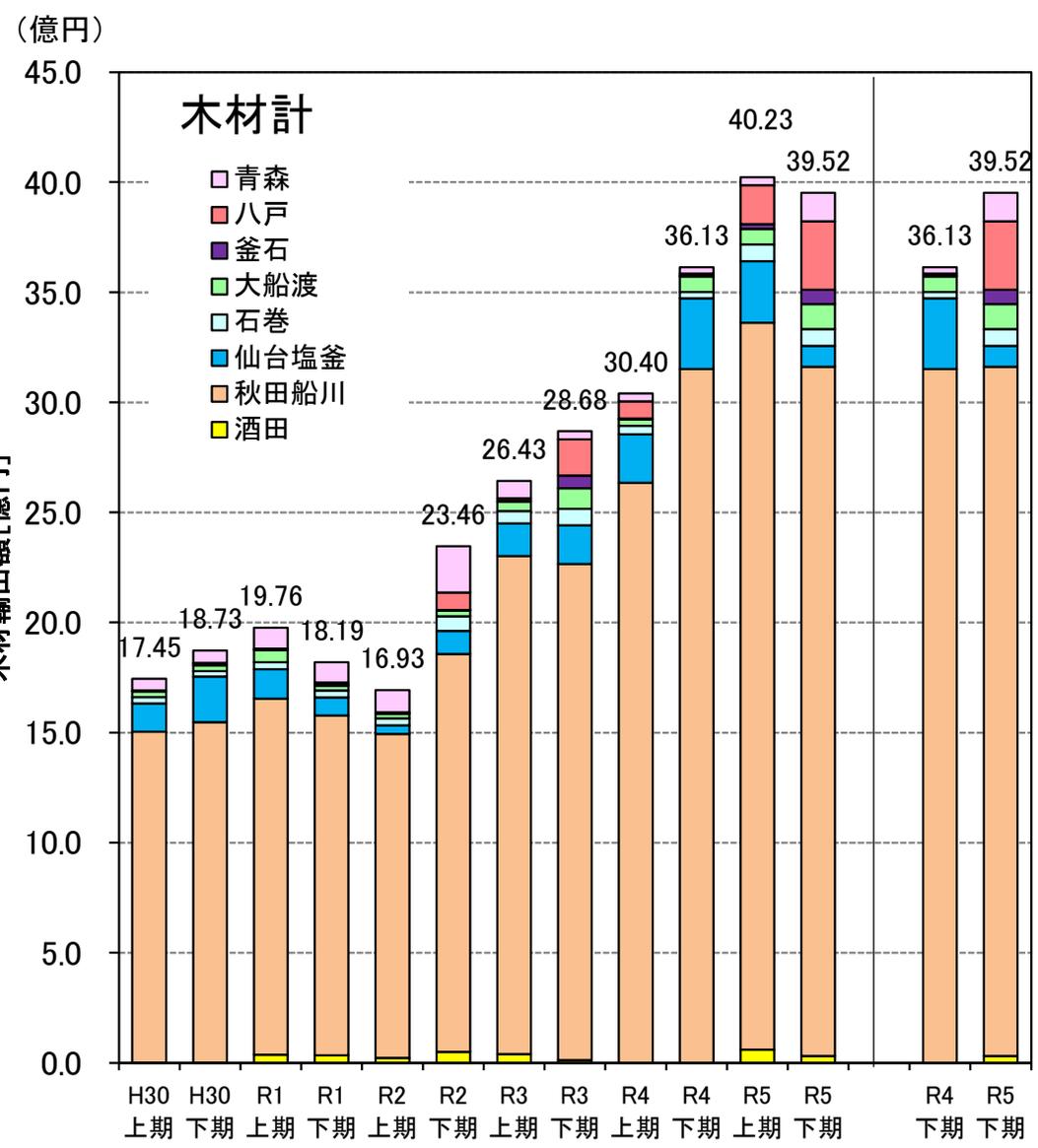
- 木材輸出額はR5年下期を昨年同期と比較すると-7%となっている。
- R5年下期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R5年下期と昨年同期を比較すると、丸太が+15%、ボード類が-28%、製材が-8%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移

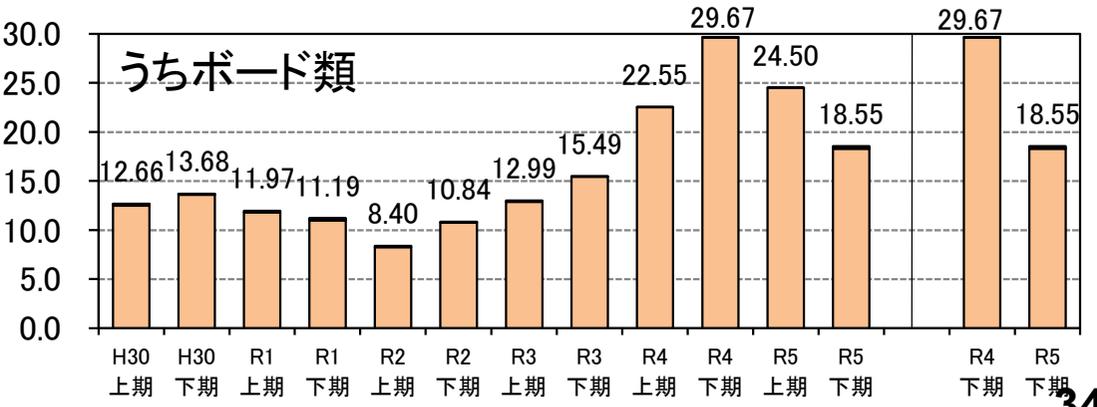
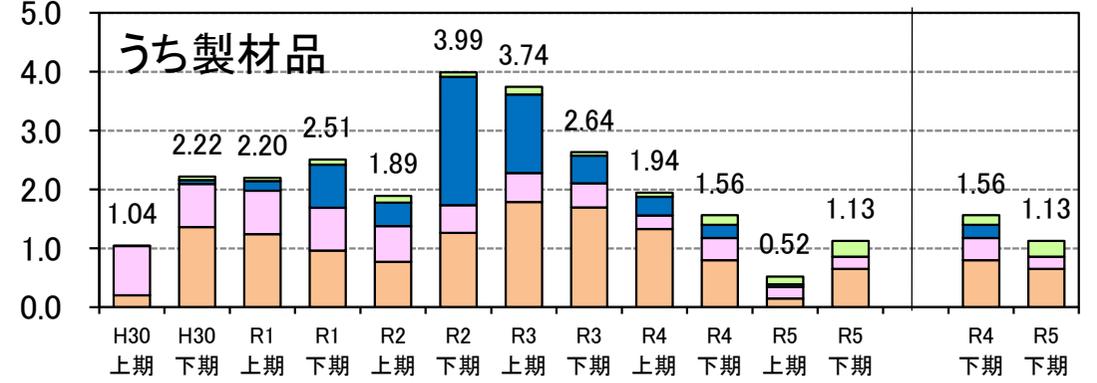
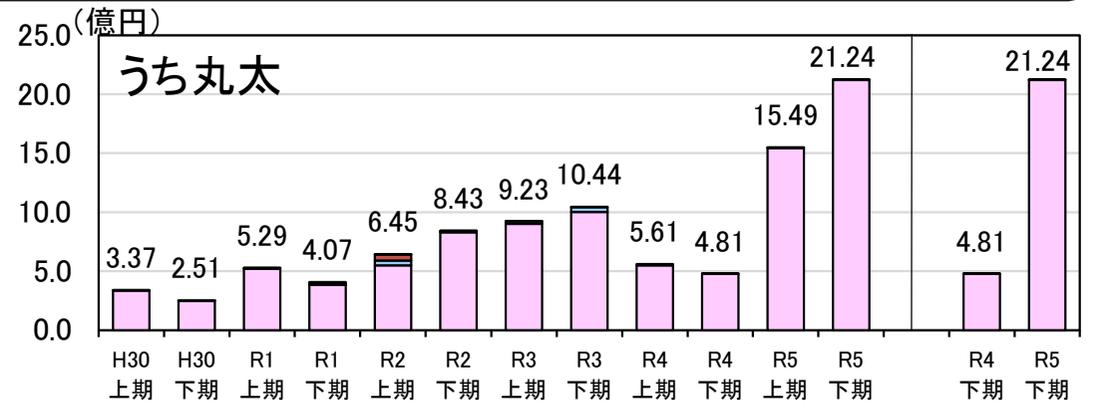
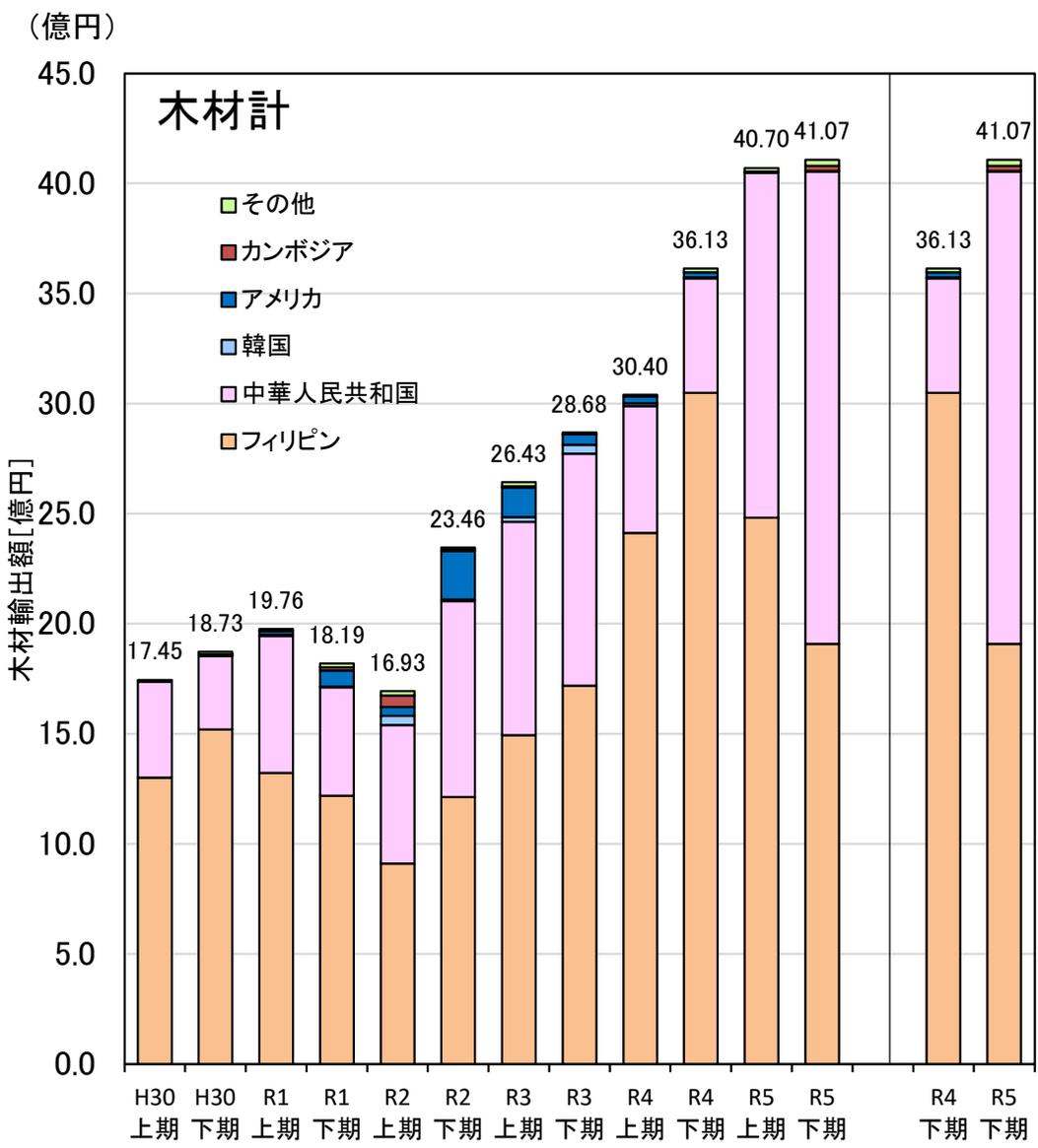
○ R5年下期と昨年同期を比較すると+9%となっている。
 ○ 品目別比較すると、丸太が+309%、製材が-62%、ボード類が-37%となっている。



出典: 財務省「貿易統計: 統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移

○ R5年下期の木材輸出額は中国が最も多く、次がフィリピンとなっている。
 ○ 品目別では、丸太は中国が最も多く、製材、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。



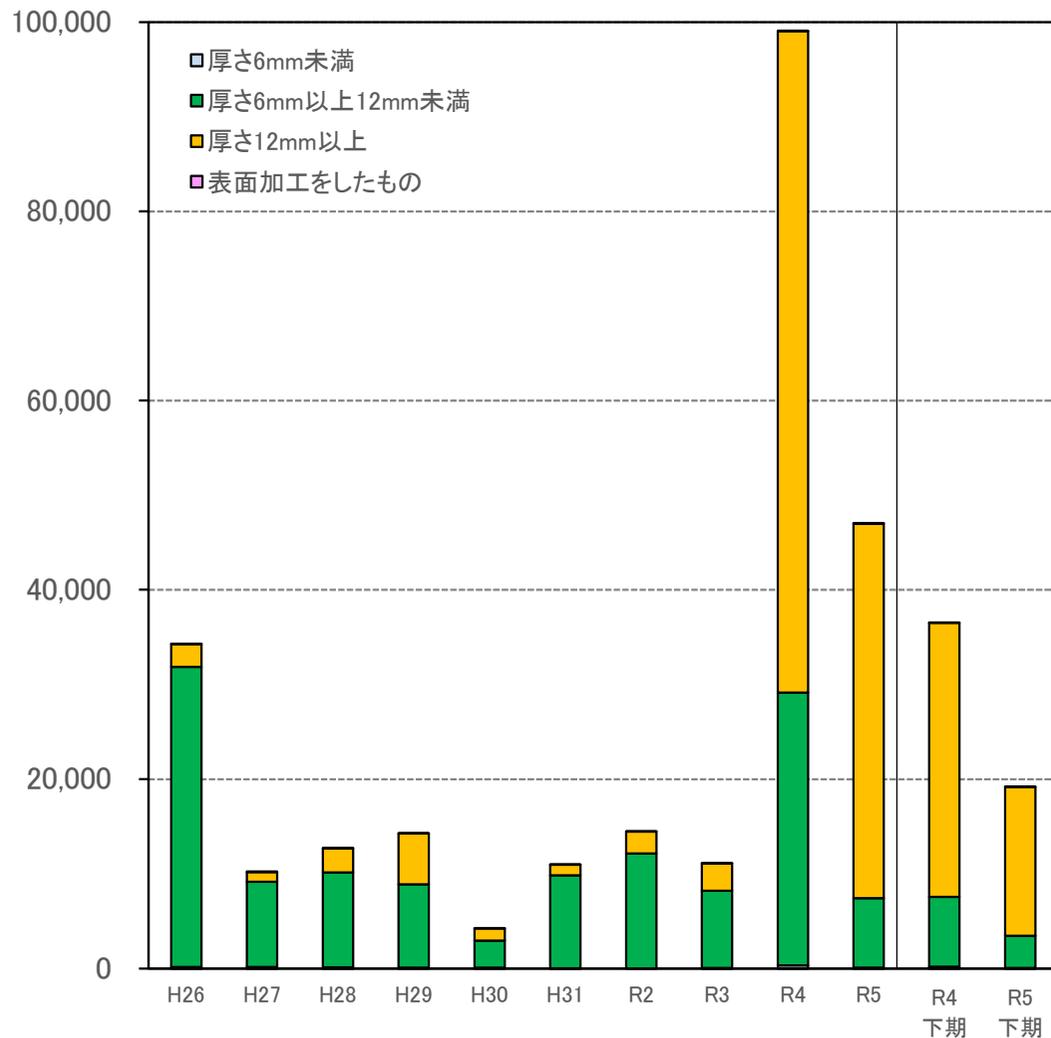
出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

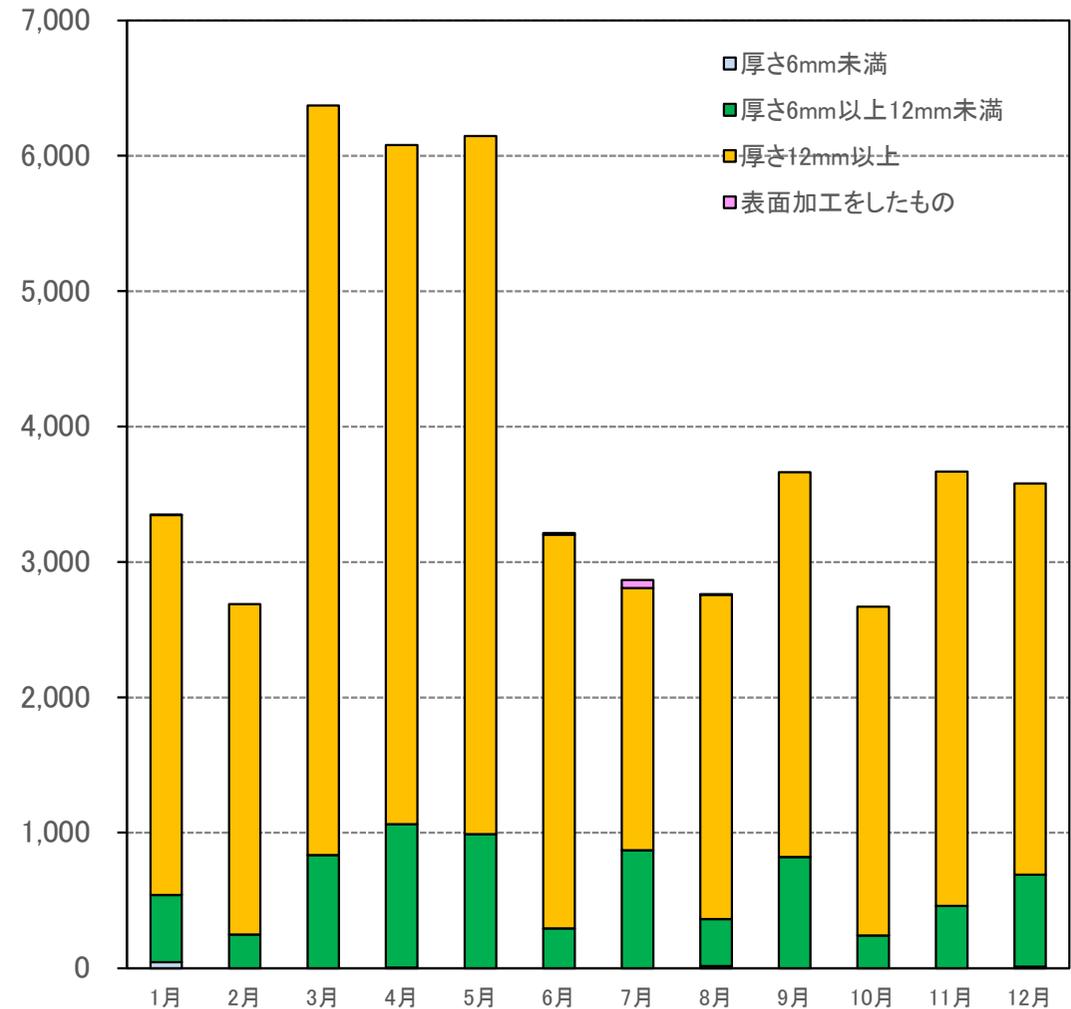
○ R5年下期と昨年同期を比較すると48%減少、年間では昨年に比べ53%減少している。

○ R5年の輸入量を月別に見ると、3～5月が他の月に比べ特に多くなっている。

中国からの合板輸入量(年別)



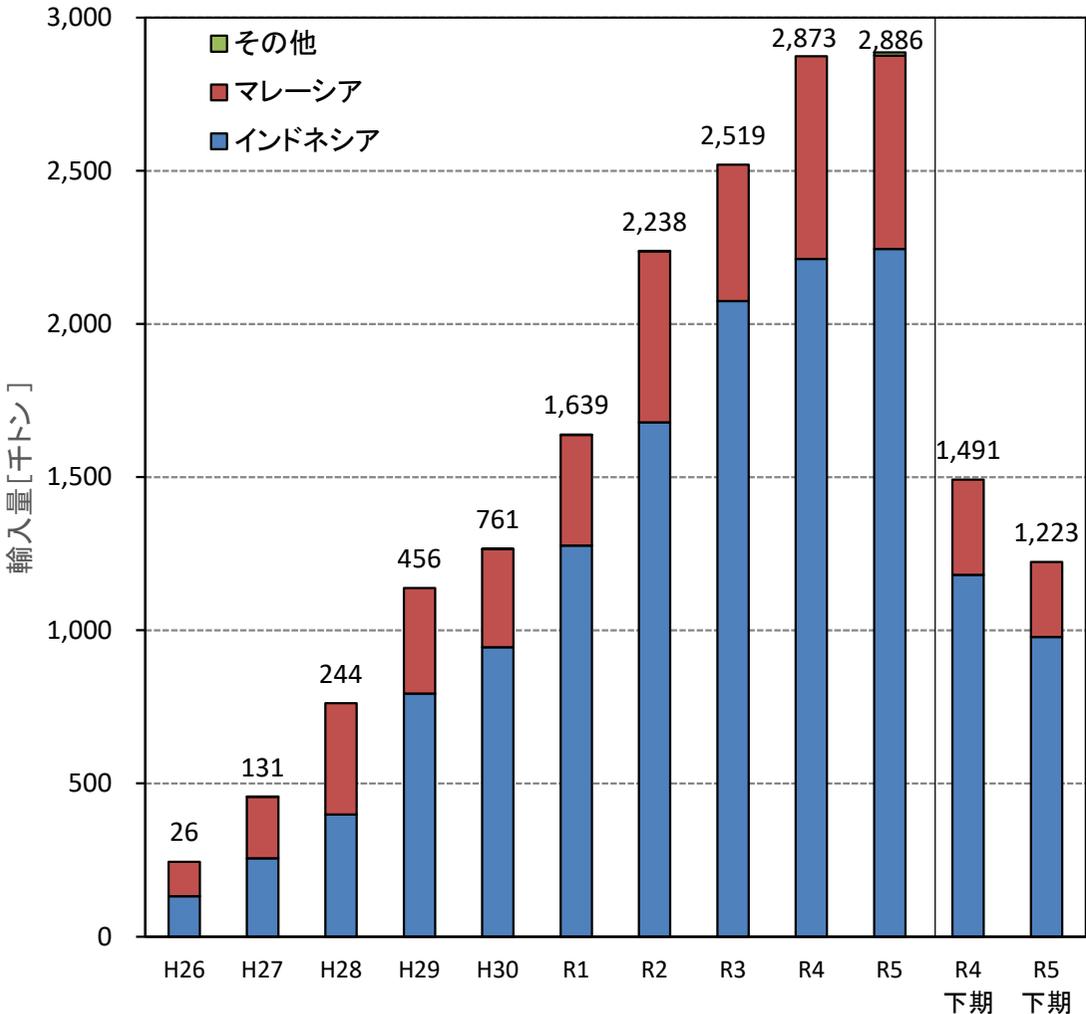
中国からの合板輸入量(R5月別、m³)



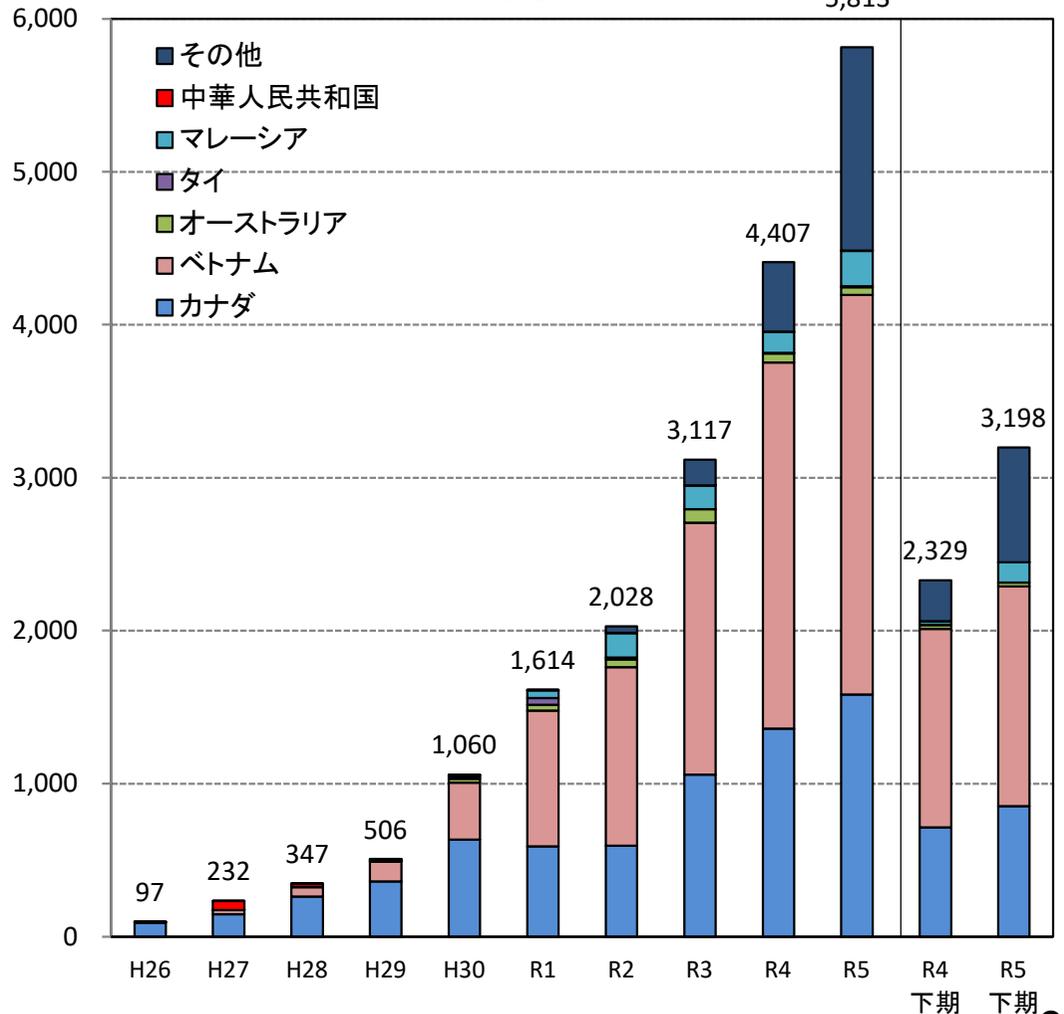
PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R5年下期と昨年同期を比較すると-18%である一方で、年間では前年に比べ0.4%増加している。
- 主な輸入相手国は、インドネシア80%、マレーシア20%となっている。
- 木質ペレット輸入量は増加しており、R5年とR4年を比較すると、+32%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム45%、カナダ27%、マレーシア4%、オーストラリア1%となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」

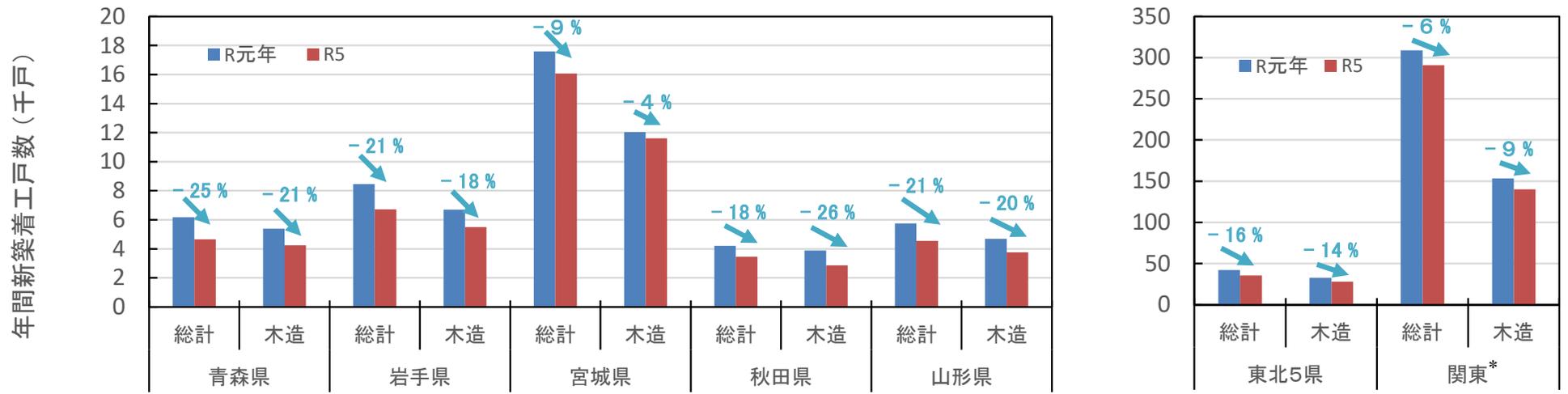
補足資料

- 新設住宅着工戸数・面積のウッドショック前(R元年)との比較
- 新設産業建築物着工面積のウッドショック前(R元年)との比較
- 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移
- PKS・木質ペレットの輸入額の推移

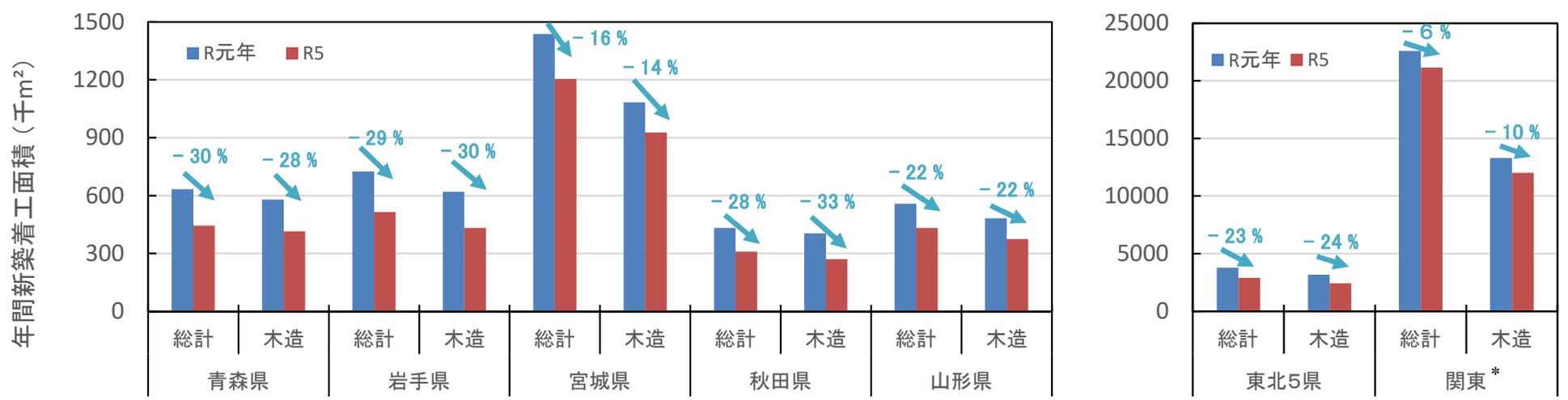
■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数・面積のウッドショック前(R元年)との比較

○東北5県の新設住宅着工戸数は、令和元年より6,728戸減少した(関東*：-17,824戸)。
 木造は令和元年より4,718戸減少し(関東*：-13,320戸)、木造率は1%増加した(関東*：-2%)。
 ○東北5県の新設住宅着工面積は、令和元年より879,235m²減少した(関東*：-1,441,605m²)。
 木造は令和元年より747,141m²減少し(関東*：-1,290,047m²)、木造率は0.4%減少した(関東*：-2%)。

● 新設住宅着工戸数



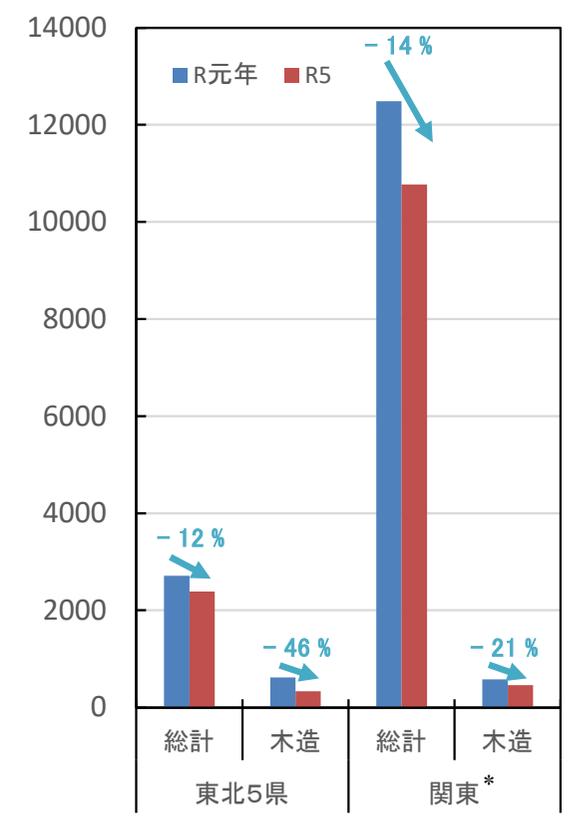
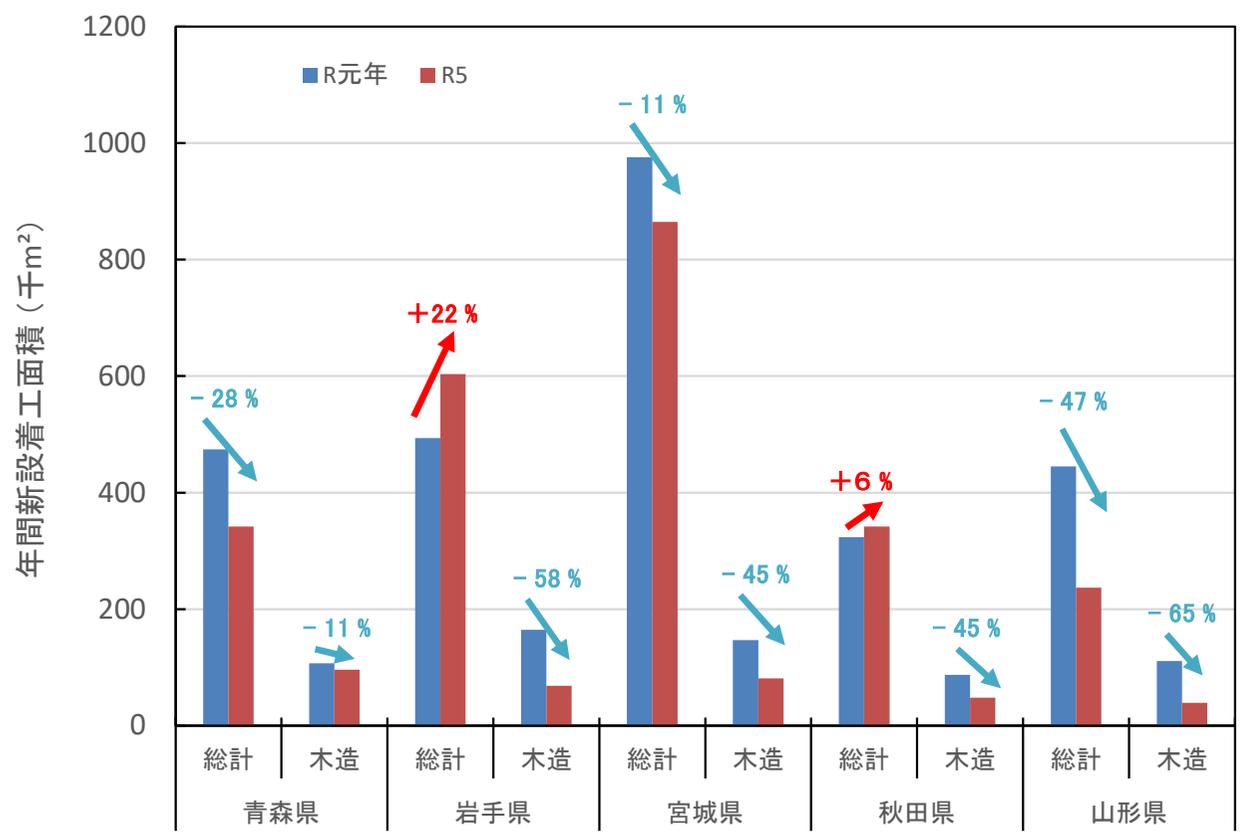
● 新設住宅着工面積



*: 関東は主要4都県の東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県を指す。 出典：国土交通省「住宅着工統計」

■東北森林管理局管内5県の新設産業建築物着工面積のウッドショック前(R元年)との比較

○東北5県の令和5年の新設産業建築物着工面積は、令和元年より323,990m²減少した(関東*：
 -1,722,081m²)。
 木造は令和元年より284,529m²減少し(関東*：-119,752m²)、木造率は9%減少した(関東*：-0.4%^{m²})。

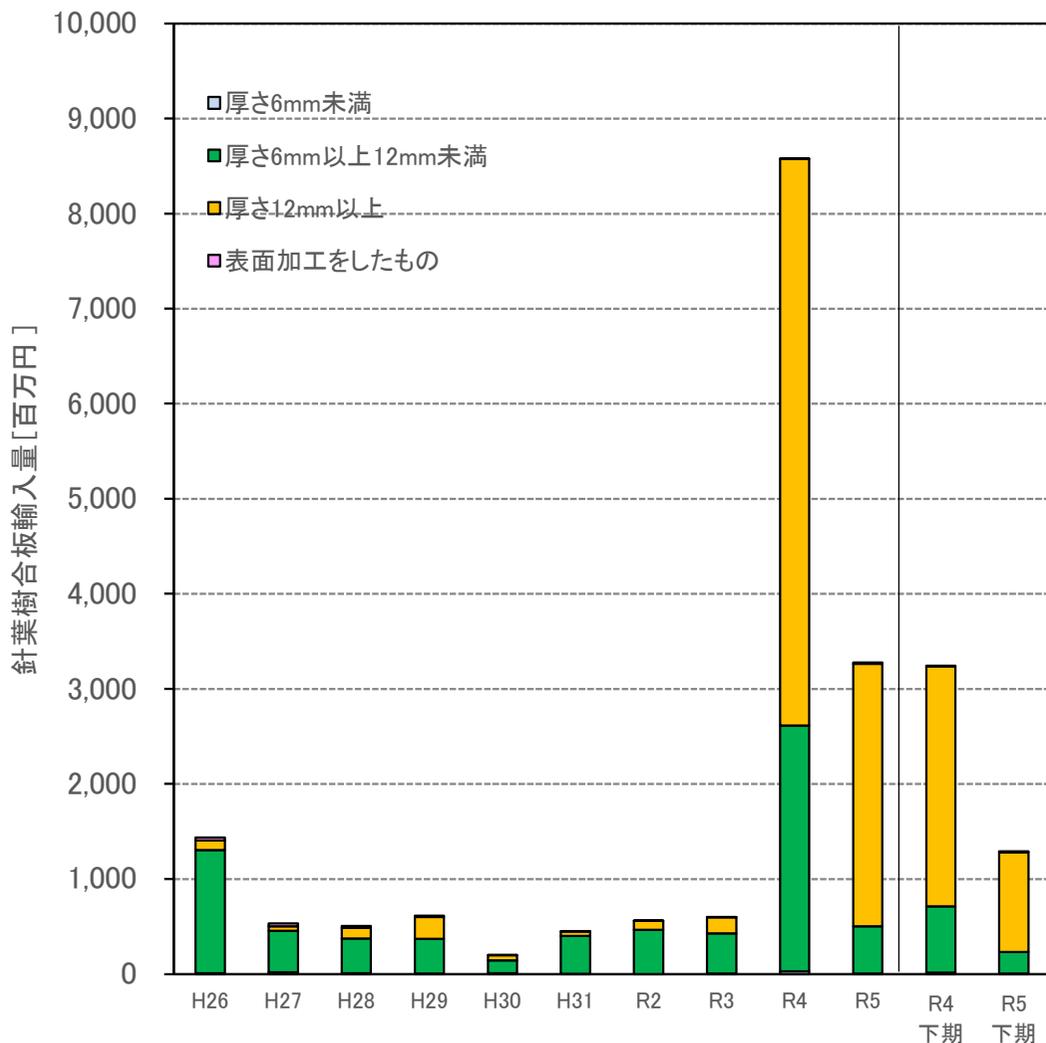


*: 関東は主要4都県の東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県を指す。

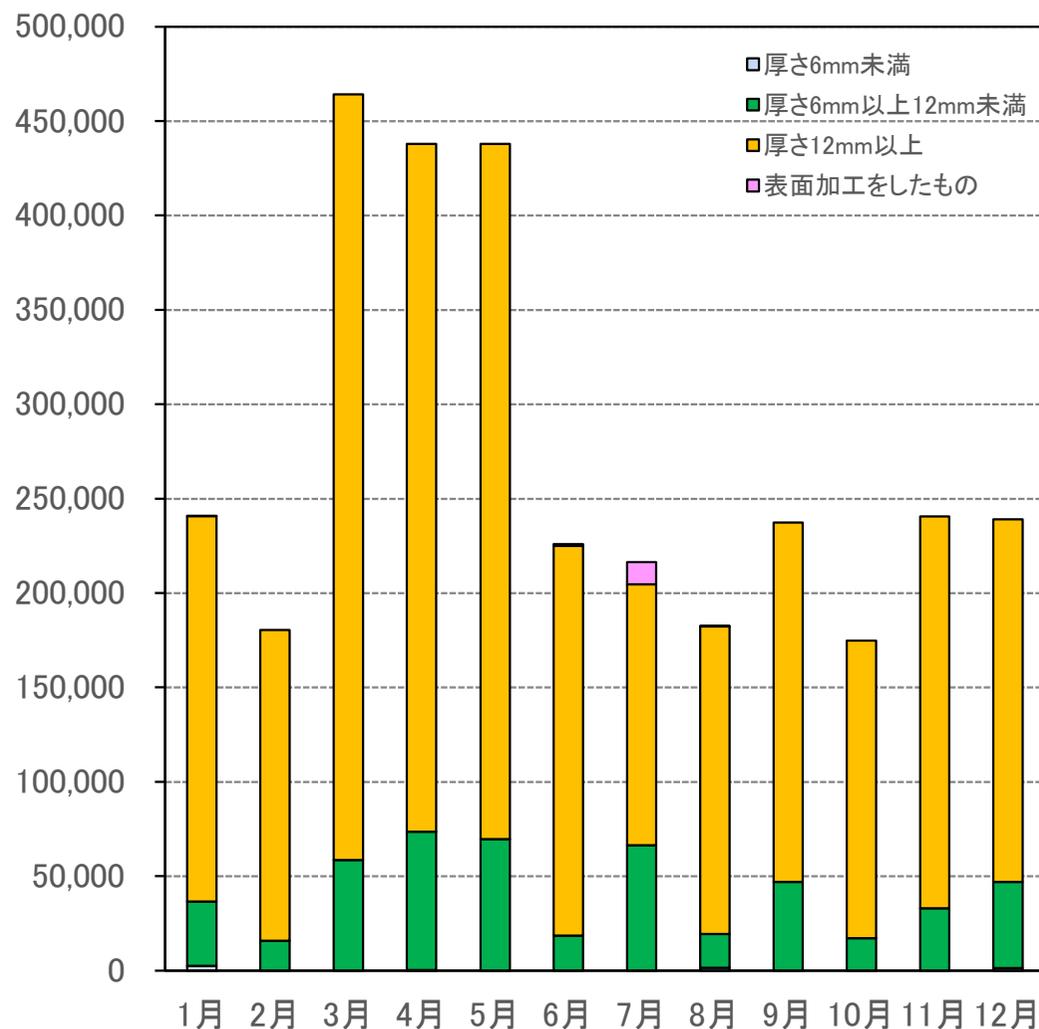
中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

- R5年下期と昨年同期を比較すると-60%となっており、年間では前年に比べて62%減少している。
- R5年の輸入額を月別に見ると3~5月が他の月に比べて特にながくなっている。

中国からの合板輸入量(年別)



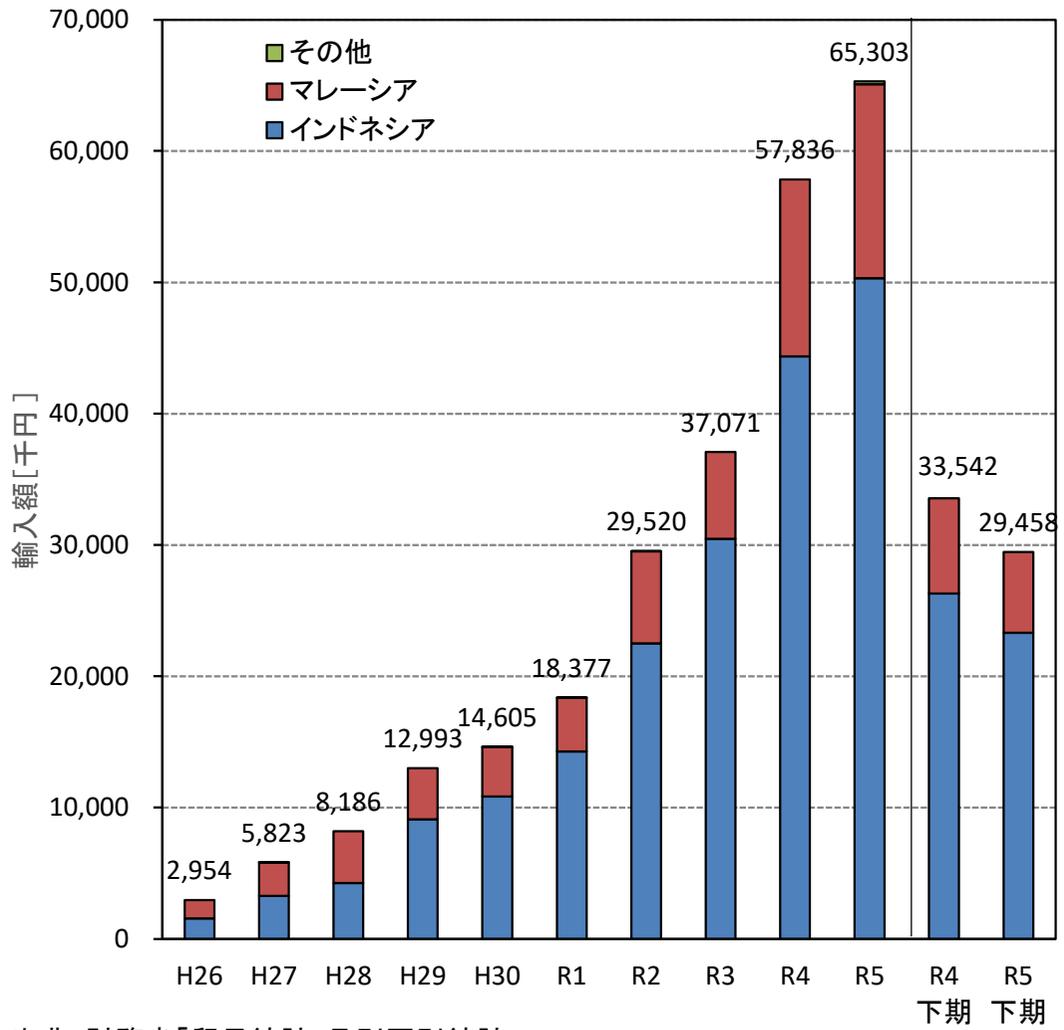
中国からの合板輸入量(R4、R5月別、千円)



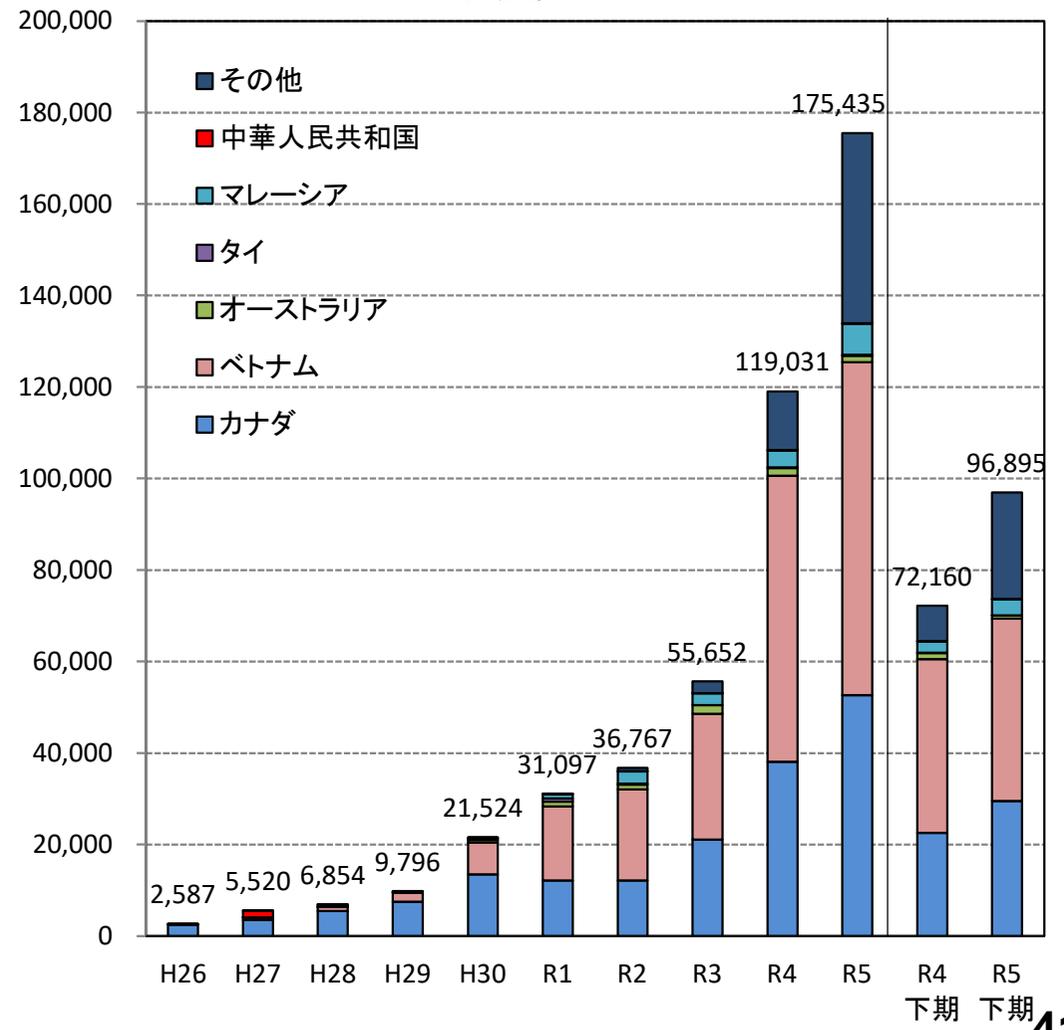
PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入量は、R5年下期と昨年同期を比較すると-12%である一方で、年間では前年に比べ13%増加している。
- 主な輸入相手国は、インドネシア79%、マレーシア21%となっている。
- 木質ペレット輸入量は増加しており、R5年とR4年を比較すると、+34%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム41%、カナダ30%、マレーシア4%、オーストラリア1%となっている。

PKS



木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」